

計測・表示システム

**Solar Link
Viewer**

操作ガイド



目次

画面を編集しよう！

画面編集の流れ.....	1
事前準備.....	2
1. 全画面表示の解除.....	2
2. 自動画面切替の解除.....	2
3. 編集したい画面の表示.....	2
4. ツールパレットの表示.....	3
編集作業.....	4
1. レイアウトウィンドウの表示.....	4
2. テキストの各種設定.....	5
3. 飾り文字の各種設定.....	8
4. その他のレイアウトウィンドウ.....	9
設定の保存と画面の復元.....	24

アイコンや画面を追加しよう！

故障アイコンの削除・追加.....	25
1. 故障アイコンの削除.....	25
2. 故障・系統異常アイコンの追加.....	25
写真の追加・変更.....	28
掲示板の追加.....	30
ユーザーコンテンツ画面の入替.....	33

画面の巡回設定を変更しよう！

自動画面切替の設定.....	34
----------------	----

動画・グラフ・帳票の各アイテムを、各画面に追加しよう！

動画アイテムの追加.....	36
1. 動画リストウィンドウ.....	36
2. 動画アイテムの作成・編集・配置.....	37
グラフアイテムの追加.....	43
1. グラフウィンドウ.....	43
2. グラフアイテムの作成・編集・配置.....	43
帳票アイテムの追加.....	51
1. 帳票ウィンドウ.....	51
2. 帳票アイテムの作成・編集・配置.....	53

本書について

- ・ 本書は太陽光発電計測システムの取扱について説明するものです。
- ・ 本書の内容及び本ソフトウェアの内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 安全上・使用上の注意については、別紙：『取扱説明書』に記載の通りです。

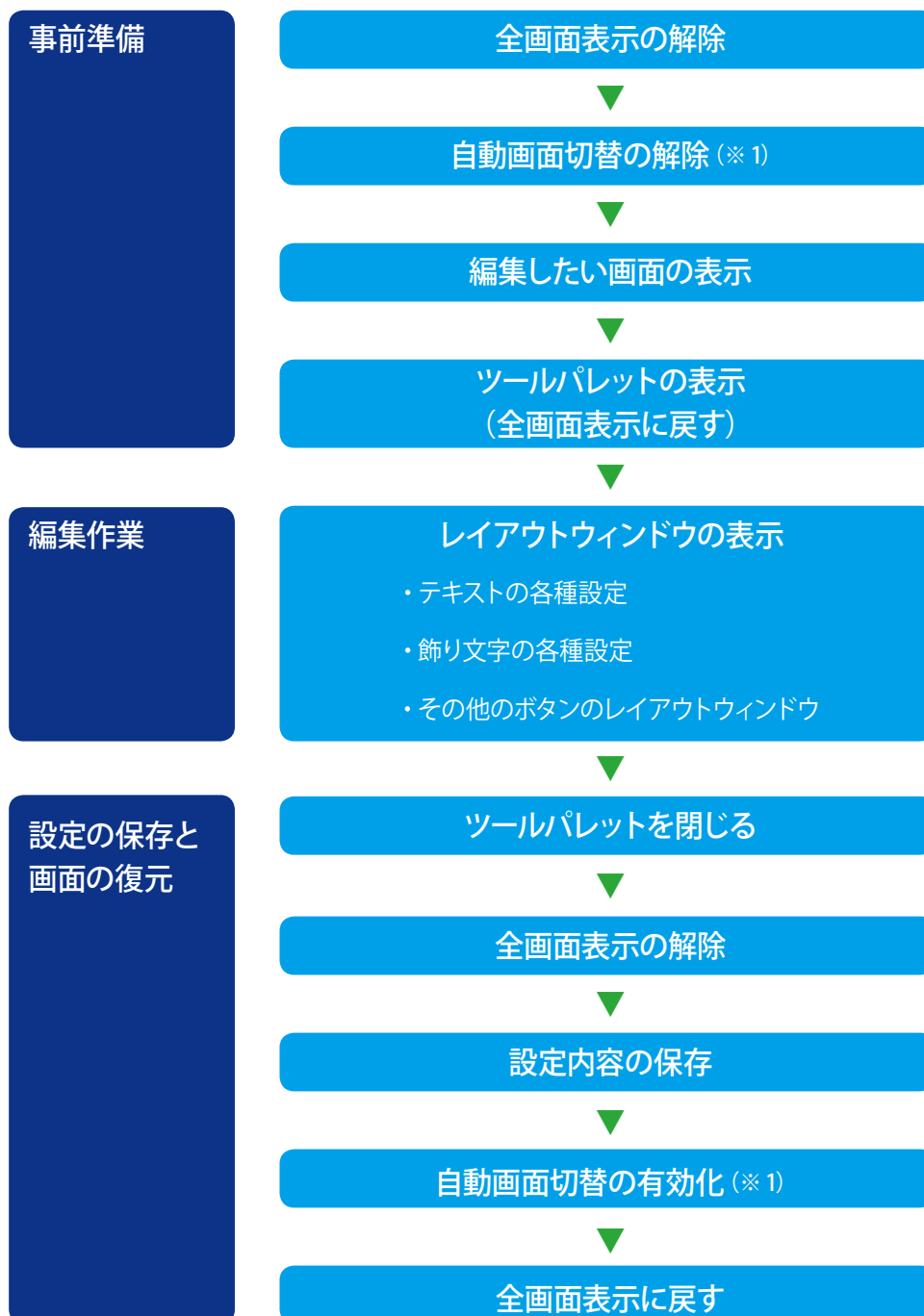


ソフトウェアの格納場所は、ハードディスクドライブ（Cドライブ／OS（C:））直下の Viewer フォルダです（計測パソコンにより異なる場合があります）。

画面編集の流れ

画面を編集するにはメニューバーを表示させたり、自動画面切替設定を解除するなどの事前準備が必要です。設定変更が終わったら、事前準備で解除や表示させたものを元に戻します。

作業の流れ



(※1) 設定している場合のみ作業を行ってください。

流れを把握したら、実際に編集してみましょう！

事前準備

1. 全画面表示の解除

本ソフトウェアの各種設定を行う際は、キーボードの **Esc** キーを押して、メニューバーを表示させてから行います。設定終了後は、再度 **Esc** キーを押して全画面表示に戻します。



全画面表示の状態



Esc キーで画面切替



メニューバー (赤枠部分) 表示中



誤操作を防ぐため、設定変更や確認をしないときは、メニューバーを表示させず、全画面表示の状態を保持することを推奨します。

2. 自動画面切替の解除

画面の編集を行う場合には、自動で画面を切り替える設定を解除する必要があります。**ファイルメニュー → 自動画面切替** をクリックして**チェックをはずします** (この設定が有効になっている場合に限りです)。

有効・・・チェックあり

無効・・・チェックなし



3. 編集したい画面の表示

本ソフトウェアに搭載している5種類の画面を手動で切り替える方法は2種類あり、画面の編集を行う場合には、編集をしたい画面を表示させてから行います。

◆ ボタンメニューによる切替

ボタンメニュー表示中 (画面下部) は、ボタンをクリックで画面を切り替えることができます。



◆ キーボード操作による切替

キーボードの Function キーで画面を切り替えることができます。

F1 キー：計測画面

F4 キー：写真画面

F2 キー：説明画面

F5 キー：掲示板画面

F3 キー：グラフ画面



F1・F2・F3・F4・F5 キーの位置 (図はイメージです)

4. ツールパレットの表示

表示画面設定メニュー → 画面レイアウト をクリックしてツールパレットを表示させます。その後、画面の任意の場所で1回クリックしてから、キーボードの **Esc** キーを押して全画面表示に戻して編集作業をはじめます。

※ツールパレットはクリックアンドドラッグで移動させることができます。



ツールパレット表示中は画面内の各アイテムがレイアウト枠（四角い黒枠）で囲まれます。
右図はツールパレットを表示させた後、全画面表示にした場合の図です。

ツールパレットの各ボタンを押してアイテムの追加や背景画像の変更などを行うことができます。

①		②	
③		④	
⑤		⑥	
⑦		⑧	
⑨		⑩	
⑪		⑫	
⑬		⑭	
⑮		⑯	
	① 新規テキスト		② 新規飾り文字 (流れ文字・点滅文字)
	③ 新規ビットマップ (画像: BMP、JPG)		④ 新規ウィンドウ (データ表示窓)
	⑤ 新規線		⑥ 新規 3D パイプ (立体の線)
	⑦ 新規アニメーション		⑧ 新規ボタン
	⑨ 新規 LED 文字		⑩ 背景
	⑪ 新規動画		⑫ 新規グラフ
	⑬ 確認		⑭ 削除
	⑮ 新規帳票		⑯ 画面レイアウト 変更終了

【ボタンの機能】

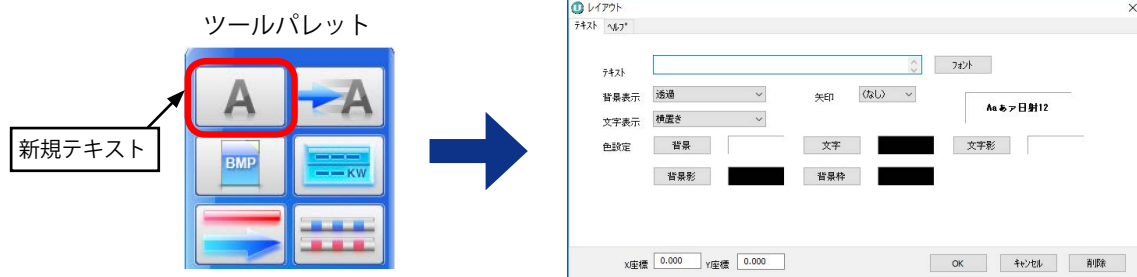
- ①～⑨、⑪、⑫、⑮ ボタンをクリックすると、各アイテムを追加することができます。
- ⑩ ボタンをクリックすると、画面の背景画像を変更することができます。
- ⑬ ボタンをクリックしてアイテムを選択すると、画面上にある選択したアイテムの設定ウィンドウが順次表示されます。
- ⑭ ボタンをクリックしてアイテムを選択すると、画面上にある選択したアイテムを一度に削除することができます。
- ⑯ ボタンをクリックすると画面レイアウト変更を終了し、ツールパレットが閉じます。

編集作業

1. レイアウトウィンドウの表示

◆ツールパレットで新規アイテムを作成する場合

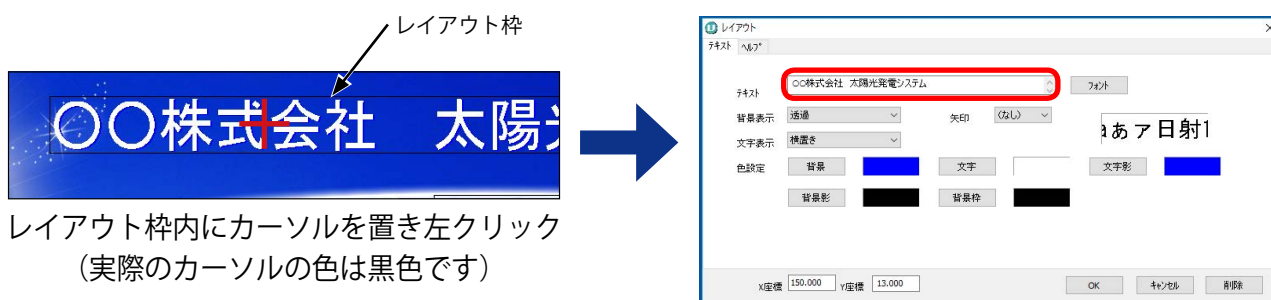
作成したいアイテムのボタンをクリックしてレイアウトウィンドウを表示させ、設定を行います。



新規テキスト設定用のレイアウトウィンドウが表示

◆既存アイテムの設定を変更する場合

編集したいアイテムのレイアウト枠内を左クリックしてレイアウトウィンドウを表示させ、設定変更を行います。



既存のレイアウトウィンドウが表示

アイテム枠上での操作

- ・ 枠内を左クリック : 各アイテムのレイアウトウィンドウが表示されます
- ・ 枠内を右クリック : 右クリックメニュー(※1)を表示します
- ・ 左上ポイントを左クリック : アイテムを移動できます(左クリックで移動先を決定)
(線・3Dパイプは始点)
- ・ 右下ポイントを左クリック : アイテムのサイズを調整できます(左クリックでサイズを決定)
(線・3Dパイプは終点)
※テキスト・ウィンドウ・LED文字は、フォントのサイズで調整します。
※帳票は、セルの列幅・行幅、ならびにフォントのサイズで調整します。

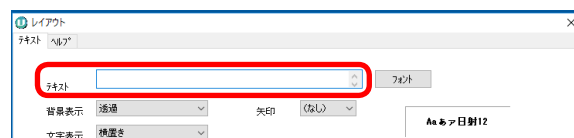
(※1) 『右クリック』メニュー ※操作状況により、有効にならないメニューがあります。

- ・ プロパティ : アイテムのレイアウトウィンドウ(P.9～23を参照)を表示します
- ・ 移動 : アイテムを移動できます(左クリックで移動先を決定)
- ・ サイズ変更 : アイテムのサイズを調整できます(左クリックでサイズを決定)
- ・ コピー : アイテムをコピーします
- ・ 貼り付け : コピーしたアイテムを、他のアイテム上で右クリックして画面に貼り付けます
- ・ 削除 : アイテムを削除します

2. テキストの各種設定

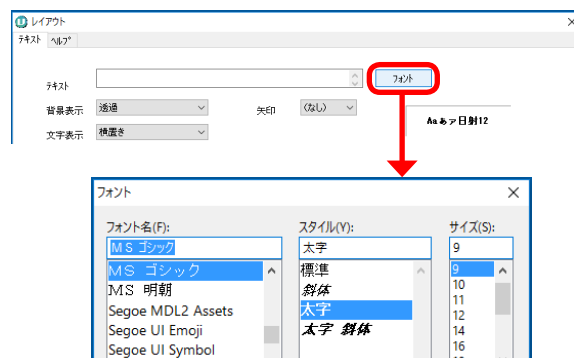
◆テキストの入力

- レイアウトウィンドウの「テキスト」に任意の文字を入力します。



◆テキストのフォント・スタイル・サイズ

- レイアウトウィンドウのフォントボタンをクリックします。
- フォントウィンドウが表示されます。フォントやスタイル、サイズを設定し、OK ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。



作成例

<フォント：MS ゴシック>

あいうえお
あいうえお
あいうえお
あいうえお

<フォント：MS 明朝>

あいうえお
あいうえお
あいうえお
あいうえお

<スタイル>

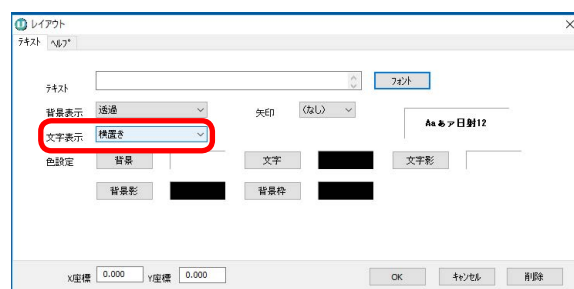
標準
斜体
太字
太字 斜体

<文字サイズ>

小
↑
大

◆テキストの読み方向

- 文字表示のプルダウンメニューでは、テキストの読み方向が、横置き、縦置き (↑)、縦置き (↓)、縦書きの4種類から選択することができます。



作成例

あいうえお

横置き

あ
い
う
え
お

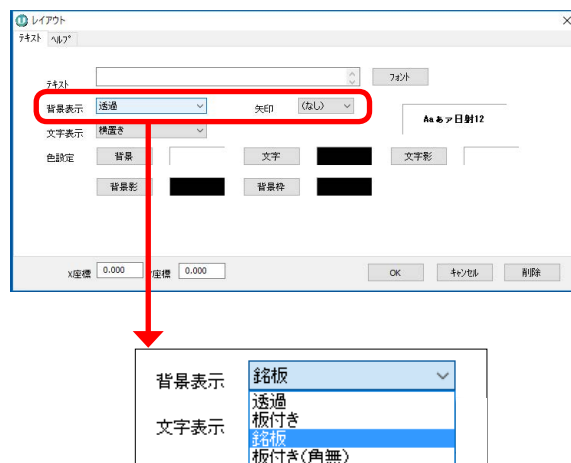
あ
い
う
え
お

あ
い
う
え
お

縦置き (↑) 縦置き (↓) 縦書き

◆テキストの背景表示

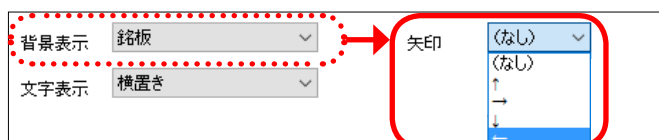
1. **背景表示**では、透過、板付き、銘板、板付き（角無）の4種類から選択することができます。
 「銘板」を選択した場合のみ、↑、→、↓、←の4種類から矢印を選択することができます。矢印は一方方向にしか付けられません。



作成例

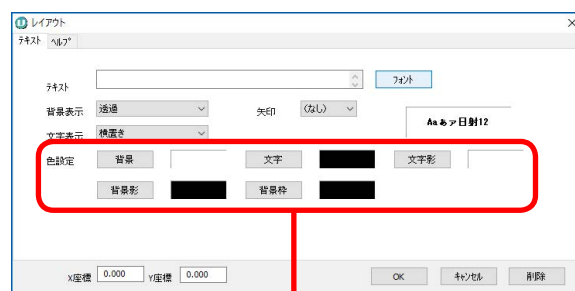


※「背景表示」で「銘板」を選択した場合のみ矢印を付けることができます。



◆テキストの色・背景色

1. 「色設定」では、文字や文字影の色を設定することができます。
「背景表示」(P.6) で『透過』以外のものに設定した場合には、背景や背景影、背景枠の色も設定することができます。



2. 背景、文字、文字影、背景影、背景枠の中で色を変更したい箇所のボタンをクリックすると、**色の設定**ウィンドウが表示されます。好きな色を選択し、**OK** をクリックしてウィンドウを閉じます。
※ 「背景表示」(P.6) で『透過』を選択している場合は、背景、背景影、背景枠の色を設定しても反映されません。



◆作成例



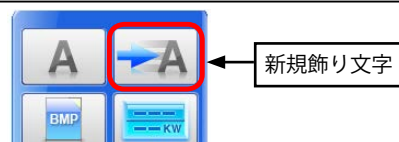
< 左図の設定内容 >

背景：水色 文字：青
背景影：灰色 文字影：ピンク

3. 飾り文字の各種設定

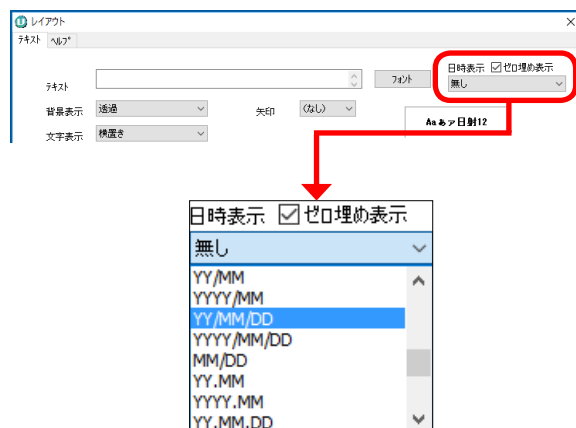


飾り文字を追加するには、ツールパレットの右上「新規飾り文字」ボタンをクリックします。



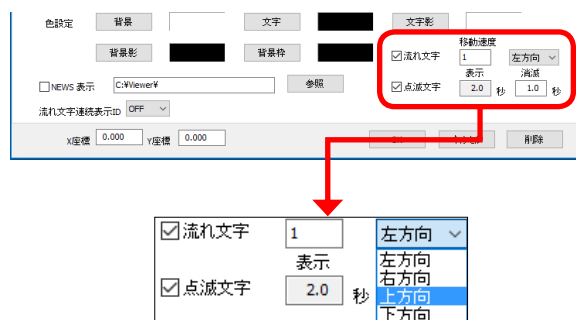
◆日時表示

1. 「日時表示」を「無し」以外のいずれかに設定すると、現在の日時を飾り文字で表示することができます。「ゼロ埋め表示」にチェック (☑) を入れると、『8月1日』→『08月01日』のように1桁の月、日の場合に2桁表示に統一することができます。



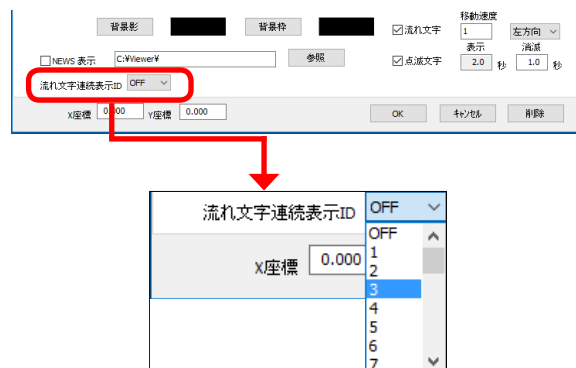
◆流れ文字・点滅文字

1. 流れ文字を表示したい場合は、「流れ文字」にチェック (☑) を入れて、移動速度 (数字が大きいくほど速くなります) と移動する方向を設定します。点滅文字を表示したい場合は、「点滅文字」にチェック (☑) を入れて、テキストを表示する時間と消滅する時間を設定します。「流れ文字」と「点滅文字」の両方にチェック (☑) を入れて設定することも可能です。



【流れ文字連続表示 ID】

1. 各画面で同一の流れ文字を設定し、「流れ文字連続表示 ID」のプルダウンで、同じ ID ナンバーを割り当てると、画面切替後も流れ文字を途切れずに表示させることができます。



設定変更後は、設定の保存と画面の復元 (P.24 を参照) にて、上書き保存を行ってください。

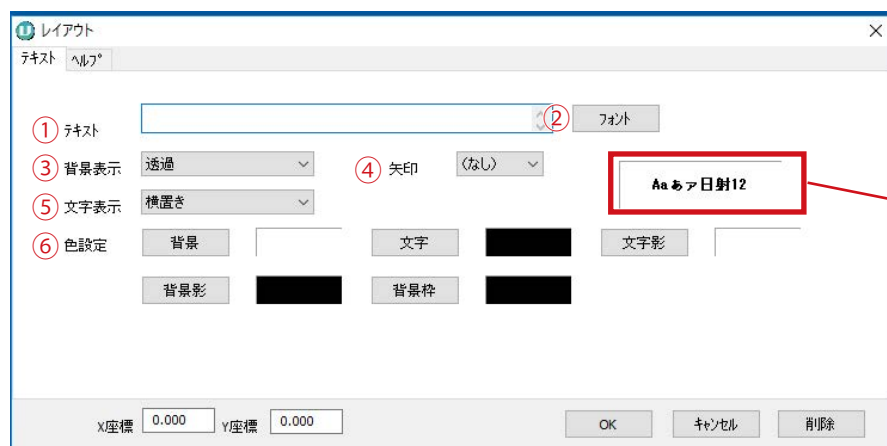
4. その他のレイアウトウィンドウ

A

① 「新規テキスト」 ボタン

文字を画面に追加する時に選択します。また、アイテムをクリックした際に表示される説明文の設定ができます。

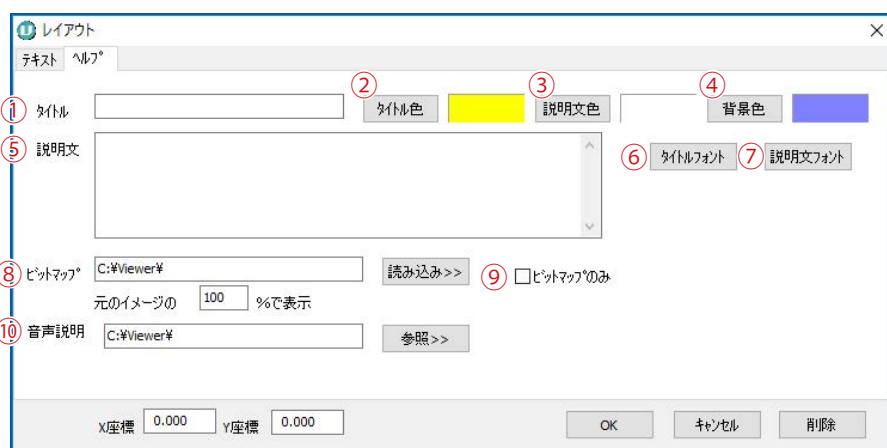
[テキスト] タブ



「フォント」のプレビュー表示

- | | |
|-------|--|
| ①テキスト | 表示する文字を設定できます。キーボードの「Enter」キーで改行も可能です。 |
| ②フォント | フォントの種類・サイズ等を設定できます。 |
| ③背景表示 | 文字の背景のタイプを設定できます。 |
| ④矢印 | 矢印付きの銘板を表示できます。背景表示で銘板を選択した場合のみ有効です。 |
| ⑤文字表示 | 文字の表示方向を設定できます。 |
| ⑥色設定 | 背景・文字・文字影・背景影・背景枠の色を設定できます。 |

[ヘルプ] タブ



ヘルプとは？

アイテムをクリックした時に表示されるアイテムの説明表示のこと。

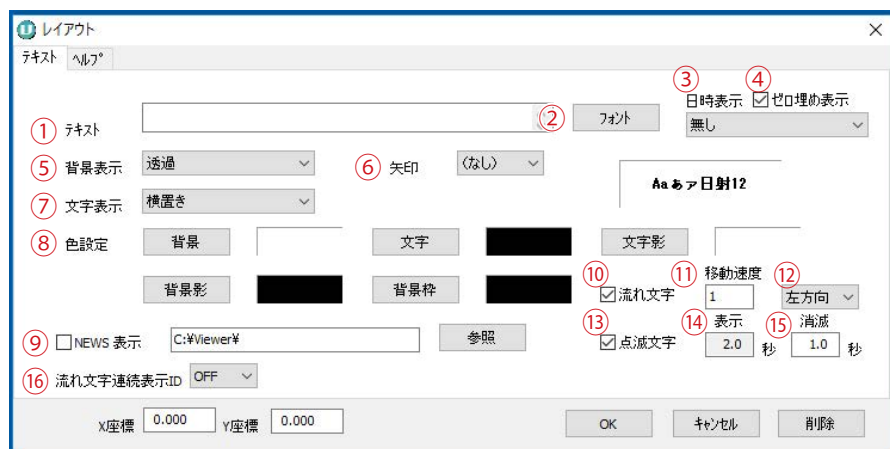
- | | |
|-----------|--|
| ①タイトル | 表示する文字を設定できます。 |
| ②タイトル色 | タイトルの色を設定できます。 |
| ③説明文色 | 説明文の色を設定できます。 |
| ④背景色 | 背景の色を設定できます。 |
| ⑤説明文 | 説明文を設定できます。 |
| ⑥タイトルフォント | タイトルのフォントを設定できます。 |
| ⑦説明文フォント | 説明文のフォントを設定できます。 |
| ⑧ビットマップ | <input type="button" value="読み込み>>"/> ボタンをクリックして、表示する画像ファイルを指定します。 |
| ⑨ビットマップのみ | チェック (<input checked="" type="checkbox"/>) を入れると、画像ファイルのみ表示されます。 |
| ⑩音声説明 | <input type="button" value="参照>>"/> ボタンをクリックして、音声を指定します。 |



② 「新規流れ文字」 ボタン

流れ文字や点滅文字を画面に追加する時に選択します。

[テキスト] タブ



- | | |
|------------------|--|
| ①テキスト | 表示する文字を設定できます。キーボードの「Enter」キーで改行も可能です。 |
| ②フォント | フォントの種類・サイズ等を設定できます。 |
| ③日時表示 | 日時の表示形式を設定できます。日時設定をした場合テキストは反映されません。 |
| ④ゼロ埋め表示 | 日時表示の際、1桁の月・日の場合にゼロで2桁表示にします。(例 .8月→08月) |
| ⑤背景表示 | 文字の背景のタイプを設定できます。 |
| ⑥矢印 | 矢印付きの銘版を表示できます。背景表示で銘版を選択した場合のみ有効です。 |
| ⑦文字表示 | 文字の表示方向を設定できます。 |
| ⑧色設定 | 背景・文字・文字影・背景影・背景枠の色を設定できます。 |
| ⑨ NEWS 表示 | チェック (☑) を入れると、参照>> をクリックして指定したテキストファイルが表示されます。 |
| ⑩流れ文字 | チェック (☑) を入れると、テキストが流れる表示になります。 |
| ⑪移動速度 | 文字の流れる速度を設定できます。大きい数字を入力するほど流れが速くなります。 |
| ⑫方向 | 文字の流れる方向を設定できます。 |
| ⑬点滅文字 | チェック (☑) を入れると、テキストが点滅表示されます。 |
| ⑭表示秒数 | 点滅の表示秒数を設定できます。 |
| ⑮消滅秒数 | 点滅の消滅秒数を設定できます。 |
| ⑯流れ文字
連続表示 ID | 各画面で同一の流れ文字に同一の ID を設定すると画面切替時に流れ文字が途切れずに表示されます。 |

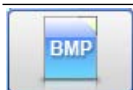
[ヘルプ] タブ

→①「新規テキスト」 ボタンの [ヘルプ] タブに同じ: P.9 を参照

X 座標・Y 座標

本ソフトウェアでは、ディスプレイの画面解像度にかかわらず、画面左上を $(x, y) = (0, 0)$ 、画面右下を $(x, y) = (640, 500)$ という座標系でアイテムの位置を示します。

アイテムの位置を微修正したい場合などにご参照ください。



③ 「新規ビットマップ」 ボタン

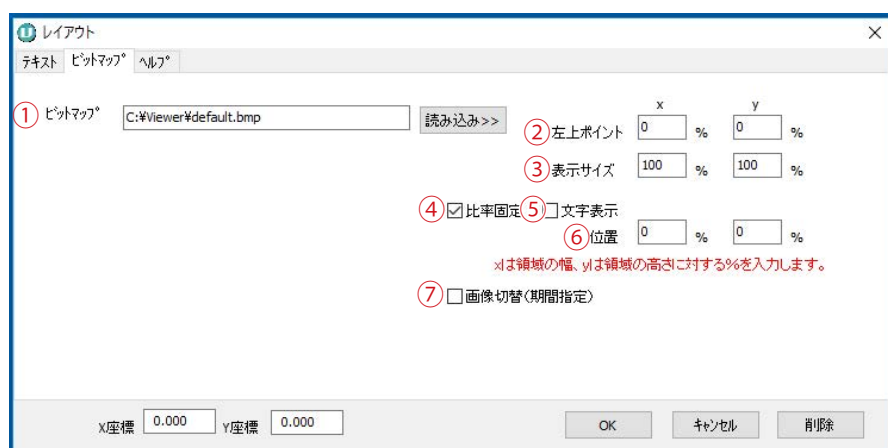
画像ファイル (BMP ファイルや JPEG ファイル) を画面に追加する時に選択します。

※ X 座標・Y 座標の説明は P.10 を参照。

[テキスト] タブ

→①「新規テキスト」 ボタンの [テキスト] タブに同じ: P.9 を参照

[ビットマップ] タブ



- | | |
|-----------------|--|
| ①ビットマップ | <input type="button" value="読み込み>>"/> ボタンをクリックして、表示する画像ファイルを指定します。 |
| ②左上ポイント | レイアウト枠内の画像の左上位置を設定できます。 |
| ③表示サイズ | 画像のサイズを設定できます。 |
| ④比率固定 | チェック (<input checked="" type="checkbox"/>) を入れると、元画像の縦横比率が固定されます。 |
| ⑤文字表示 | チェック (<input checked="" type="checkbox"/>) を入れると、テキストで設定した文字がレイアウト枠内に表示されます。 |
| ⑥位置 | レイアウト枠内に文字を表示する位置を設定できます。 |
| ⑦画像切替
(期間指定) | チェック (<input checked="" type="checkbox"/>) を入れると、「詳細設定」 ボタンが表示され、指定した期間毎 (時間毎・曜日毎・月毎) に表示する画像を指定して、自動的に切り替える設定ができます。 |

[ヘルプ] タブ

→①「新規テキスト」 ボタンの [ヘルプ] タブに同じ: P.9 を参照



④ 「新規ウィンドウ」 ボタン

データ表示窓を画面に追加する時に選択します。

[テキスト] タブ

→① 「新規テキスト」 ボタンの [テキスト] タブに同じ: P.9 を参照

[ウィンドウ] タブ

※ X 座標・Y 座標の説明は P.10 を参照。
※タイトルのフォントや色の設定は、
[テキスト] タブで行います。

①タイトル	タイトルに表示する文字を設定できます。	
②表示データ 設定	標準	データの瞬時値を表示します。
	状態表示	計測中、データが表示条件内（故障など）の時にアイテムを表示します。
	今日の電力量	今日の電力量を表示します。
	今月の電力量	今月の電力量を表示します。
	年間の電力量	年間の電力量を表示します。
	総電力量	総電力量を表示します。
	昨日の電力量	昨日の電力量を表示します。
	昨日から 過去365日電力量	昨日から過去 365 日の電力量を表示します。
③単位に「h」をつける	「単位表示」だけにチェック (☑) を入れると、単位が表示されます。 「単位表示」と「単位に「h」をつける」の両方にチェック (☑) を入れると、 単位にhが付加されて表示されます。	
③単位表示		
④数値のカンマ区切り	チェック (☑) を入れると、3桁ごとにカンマが表示されます。	
⑤名前	データ欄に表示するデータ名を設定できます。	
⑥チャンネル	表示するチャンネル番号を設定できます（ダブルクリックで決定）。	
⑦桁1	表示するデータ数値の小数点を含む全体の桁数を設定できます。 最大8桁表示可能です。	
⑧桁2	表示するデータの小数点以下の桁数を設定できます。	
⑨最小値（含まない）	表示するデータの最小値を設定できます。	
⑩最大値（含む）	表示するデータの最大値を設定できます。	
⑪線描画のタイトル	チェック (☑) を入れると、タイトルとデータの間区切り線が表示されます。	

※計測データが最小値未満または最大値より大きい場合は、“-----”と表示されます。

[ヘルプ] タブ

→① 「新規テキスト」 ボタンの [ヘルプ] タブに同じ: P.9 を参照



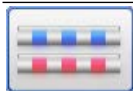
⑤ 「新規線」 ボタン

線を画面に追加する時に選択します。

[線] タブ

始点		終点	
X	Y	X	Y
500.00	98.23	28.49	139.44
矢印: なし		矢印: なし	
線種: [Solid Line]	幅: 1	色: [Black]	

-
- | | |
|-----|-----------------------|
| ①位置 | 線の始点と終点座標を設定できます。 |
| ②矢印 | 線の始点と終点の形状を矢印に設定できます。 |
| ③線種 | 線種を設定できます。 |
| ④幅 | 幅を設定できます。 |
| ⑤色 | 色を設定できます。 |
-



⑥ 「新規 3D パイプ」 ボタン

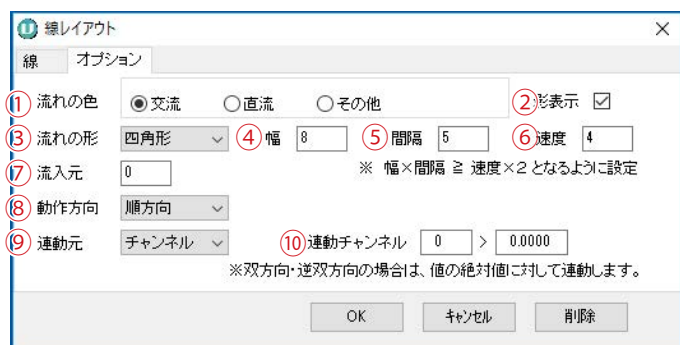
立体の線 (3D パイプ) を画面に追加する時に選択します。

※本ソフトウェアでは直流や交流を表す線として使用しています。

[線] タブ

→「新規線」ボタンの [線] タブに同じ: P.13 を参照

[オプション] タブ



① 流れの色	流れの色を設定できます。 交流は赤色、直流は青色、その他は任意となります。	
② 影表示	影の表示・非表示を設定できます。	
③ 流れの形	流れの形を設定できます。 四角形、山形、円形から選択できます。	
④ 幅	線幅を設定できます。	
⑤ 間隔	流れの間隔を設定できます。	
⑥ 速度	流れの速度を設定できます。	
⑦ 流入元	2つ以上の 3D パイプの流れを連続表示させる場合に、各 3D パイプの流入元を設定できます。流入元の 3D パイプの番号を入力します。	
⑧ 動作方向	パイプの動作方向を設定できます。 順方向、双方向、逆双方向から選択できます。	
⑨ 連動元	なし	計測中は無条件に電気の流れを表示します。
	チャンネル	連動チャンネルで設定したチャンネルと値に連動します。
⑩ 連動チャンネル	パイプが連動するチャンネルを設定できます。 (連動元がチャンネルの場合のみです。)	



⑦ 「新規アニメーション」 ボタン

アニメーションを画面に追加する時に選択します。

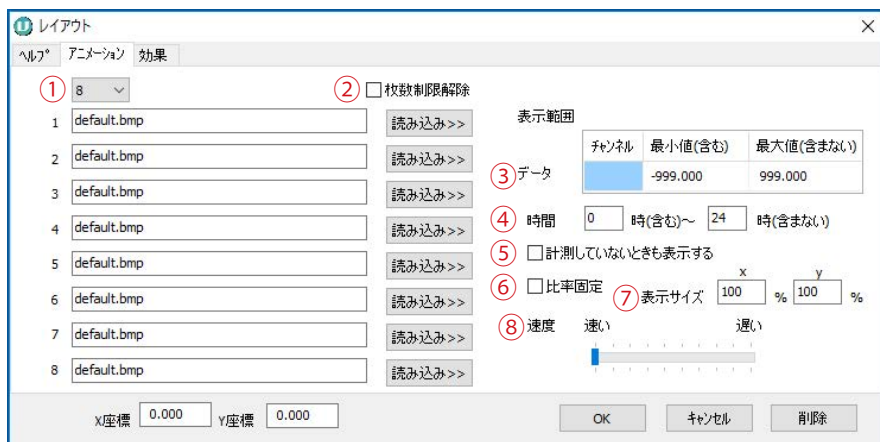
※ X 座標・Y 座標の説明は P.10 を参照。

[ヘルプ] タブ

→①「新規テキスト」 ボタンの [ヘルプ] タブに同じ: P.9 を参照

[アニメーション] タブ

アニメーションとして使用する画像ファイルの指定や表示・非表示の設定などができます。



①画面枚数選択

アニメーションで使用する画像ファイルの枚数を選択します。

②枚数制限解除

チェック (☑) を入れると、画像を最大 999 個表示できます。

※ 設定ファイル名のルール
 ***_001.bmp, ***_002.bmp, ***_003.bmp・・・とあるうちの、
 ***_001.bmp を指定。(jpg ファイルでも可能です。)

③データ

設定したチャンネルの値が最小値以上最大値以下の時に表示されます。

④時間

設定された時間内で表示されます。

⑤計測していないときも表示する

チェック (☑) を入れると、常に表示されます。

⑥比率固定

チェック (☑) を入れると、読み込んだ画像の縦横比率が保持されます。

⑦表示サイズ

画像のサイズを設定できます。

⑧速度

アニメーションの切り替えの速さを調節できます。

※ 「③データ」と「④時間」で定義した内容が全て成立した時に、アニメーションが表示されます (AND 条件)。

[効果] タブ

アニメーションの詳細設定（表示範囲や移動範囲など）を設定するときに選択します。

※ X 座標・Y 座標の説明は P.10 を参照。



①流れ効果	<p>チェック (☑) を入れると、アニメーションを移動させることができます。</p> <p>このオプションにチェック (☑) を入れると、表示画面上でのアニメーションの移動範囲と表示範囲を設定できます。</p> <p>2 種類のレイアウト枠のうち、外枠破線が移動範囲、内枠点線が表示範囲です。アニメーションは、外枠の移動範囲内を指定方向に向けて移動し、その間、内枠の表示範囲内でのみ表示されます。</p> <p>レイアウト枠の右下をクリックすると枠のサイズ（表示範囲・移動範囲）の調整ができますが、⑦⑧⑨⑩の項目でも調整可能です。</p>
②移動速度	数値が大きいほどアニメーションが速く移動します。
③方向	アニメーションが移動する方向を上下左右から選択できます。
④スタイル	一方向 アニメーションは移動範囲の端まで来ると、反対側の移動範囲の端から現れます。
	往復 アニメーションは移動範囲の端まで来ると、逆方向に移動します。
ランダム	アニメーションは移動範囲内をランダムに移動します。
⑤繰り返し	チェック (☑) を入れると、移動範囲内をアニメーションが繰り返し動き続けます。
⑥連続表示	チェック (☑) を入れると、移動範囲の端まで来ると同時に、反対側の移動範囲の端から現れます。（「スタイル」が一方向で「繰り返し」オプションが ON の場合のみ有効です。）
⑦移動範囲	移動範囲の位置と幅、高さを数値指定することができます。
⑧表示範囲	表示範囲の位置と幅、高さを数値指定することができます。
⑨画像に合わせる	移動範囲及び表示範囲をアニメーションの大きさに合わせます。
⑩移動範囲に合わせる	表示範囲を移動範囲に合わせます。
⑪点滅効果	チェック (☑) を入れると、アニメーションを点滅させることができます。
⑫表示	秒単位でアニメーションを表示する時間を指定できます。
⑬消滅	秒単位でアニメーションを消滅させる時間を指定できます。



③ 「新規ボタン」 ボタン

ボタンを追加する時に選択します。

※ X 座標・Y 座標の説明は P.10 を参照。

[テキスト] タブ

→① 「新規テキスト」 ボタンの [テキスト] タブに同じ: P.9 を参照

[ビットマップ] タブ

- | | |
|-----------|---|
| ①ビットマップ | <input type="button" value="読み込み>>"/> をクリックして表示する画像ファイルを指定します。 |
| ②ビットマップ 2 | <input type="button" value="読み込み>>"/> をクリックして表示する画像ファイルを指定します。 |
| ③左上ポイント | レイアウト枠内の画像の左上位置を設定できます。 |
| ④表示サイズ | 画像のサイズを設定できます。 |
| ⑤比率固定 | チェック (<input checked="" type="checkbox"/>) を入れると、元画像の縦横比率が固定されます。 |
| ⑥文字表示 | チェック (<input checked="" type="checkbox"/>) を入れると、[テキスト] タブで設定した文字が表示されます。 |
| ⑦位置 | レイアウト枠内に文字を表示する位置を設定できます。 |
| ⑧アクション | ボタンクリック時の動作 (プルダウンメニューから選択) を設定できます。 |

[ヘルプ] タブ

→① 「新規テキスト」 ボタンの [ヘルプ] タブに同じ: P.9 を参照



⑨ 「新規 LED 文字」 ボタン

計測データを LED 文字で表示させる時に選択します。

※ X 座標・Y 座標の説明は P.10 を参照。

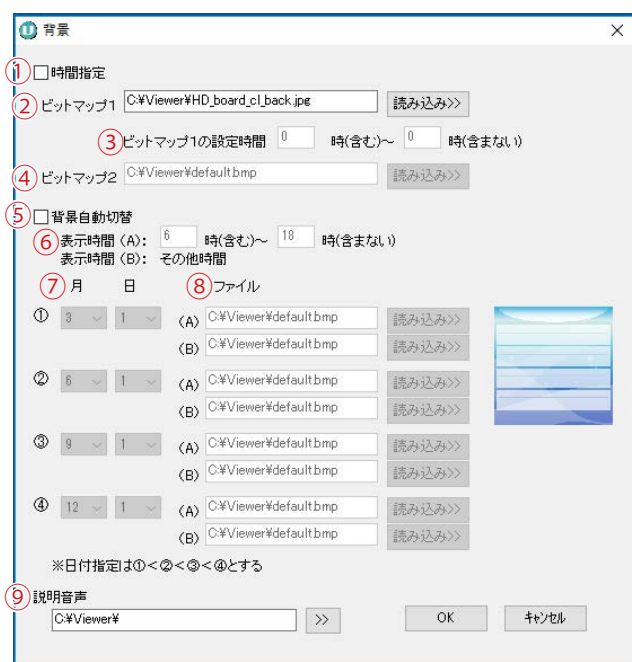


①表示データ 設定	標準	データの瞬時値を表示します。
	状態表示	計測中、データが表示条件内（故障など）の時にアイテムを表示します。
	今日の電力量	今日の電力量を表示します。
	今月の電力量	今月の電力量を表示します。
	年間の電力量	年間の電力量を表示します。
	総電力量	総電力量を表示します。
	昨日の電力量	昨日の電力量を表示します。
	昨日から過去 365 日電力量	昨日から過去 365 日の電力量を表示します。
日時	日時を表示します。表示形式は、「日時」を選択すると表示される「日時表示形式（※ 1）」のプルダウンメニューから選択します。	
②チャンネル	ダブルクリックすると表示するチャンネルを設定できます(ダブルクリックで決定)。	
③桁 1	表示するデータの小数点を含む全体の桁数を設定できます。	
④桁 2	表示するデータの小数点以下の桁数を設定できます。	
⑤最小値	表示するデータの最小値を設定できます。	
⑥最大値	表示するデータの最大値を設定できます。	
⑦日時表示形式（※ 1）	日時の表示形式を設定します。 (※ 1) この項目は「表示データ設定」で「日時」を選んだ場合のみ表示されます。 上図は表示されていない状態です。	
⑧背景有り	チェック (<input checked="" type="checkbox"/>) を入れると、背景を表示します。	
⑨数字影有り	チェック (<input checked="" type="checkbox"/>) を入れると、数字影を表示します。	
⑩大きさ	数字の大きさを設定できます。	
⑪幅	数字の幅を設定できます。	
⑫光色	LED 文字の色を設定できます。	
⑬影色	LED 文字の影色を設定できます。	
⑭背景	LED 文字の背景色を設定できます。	



⑩ 「背景」 ボタン

背景となる画像ファイルを設定する時に選択します。



① 時間指定

チェック (☑) を入れると、③の項目で指定した時刻で背景画像を切り替えます。

② ビットマップ 1

読み込み>> をクリックして 1 枚目の画像ファイルを指定します。

③ ビットマップ 1 の設定時間

ビットマップ 1 を表示する時間帯を設定します。

④ ビットマップ 2

読み込み>> をクリックして 2 枚目の画像ファイルを指定します。
2 枚目は、「ビットマップ 1 の設定時間」以外の時間帯に表示します。

⑤ 背景自動切替

チェック (☑) を入れた場合、⑥⑦⑧の項目で設定した自動切替設定を有効にします。

⑥ 表示時間 (A)

ファイル A を表示する時間帯を設定します。
(ファイル B はファイル A 表示時間ではない時間帯に表示します)

⑦ 月・日

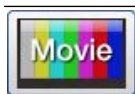
背景を切り替える日付を設定できます。

⑧ ファイル

⑤の項目にチェック (☑) を入れた場合、読み込み>> をクリックして背景画像の指定ができます。

⑨ 説明音声

画面切替時に再生される音声を設定できます。



⑪ 「新規動画」 ボタン

動画を追加する時に選択する時に選択します。

→ 設定ウィンドウの説明、動画アイテムの追加手順は「動画アイテムの追加」P.36 を参照。

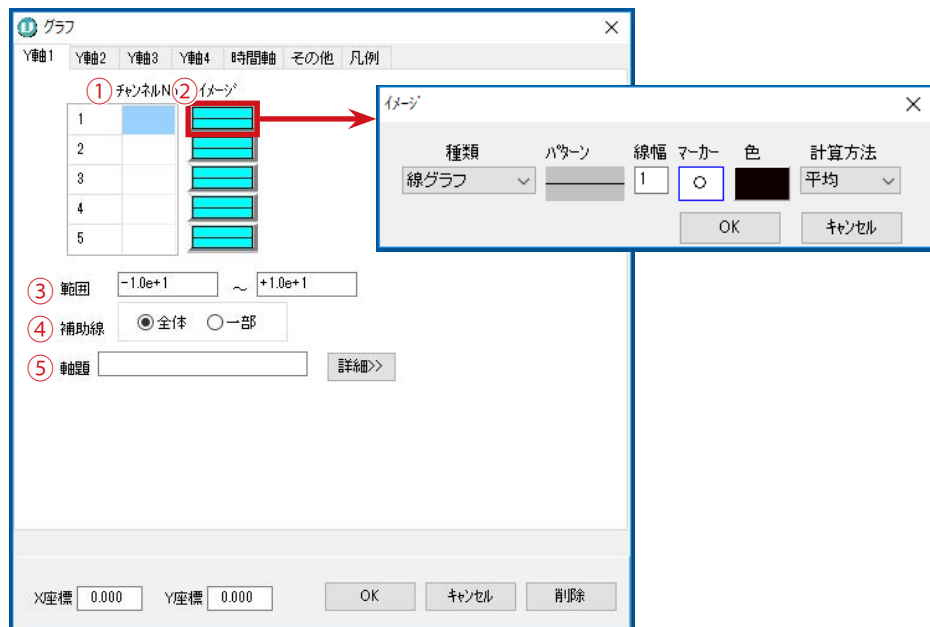


⑫「新規グラフ」ボタン

グラフを追加する時に選択します。

→ グラフアイテムの追加手順は「グラフアイテムの追加」P.43 を参照。

[Y 軸] タブ



①チャンネル No. グラフの対象となる計測チャンネルを設定できます。

クリックするとイメージウィンドウが表示されます。

種類、パターン、線幅、マーカー、色、計算方法の設定ができます。

種類 線グラフ・棒グラフ・影付き線グラフから選択します。

パターン 棒グラフ、線グラフのパターンを各 6 種類から選択します。

②イメージ

線幅 線幅を設定できます（「種類」で線グラフ、影付き線グラフを選択している場合のみ）。

マーカー マーカーマークを設定できます（[その他] タブの「マーカー描画」にチェックを入れている場合のみ）。

色 色を設定できます。

計算方法 平均・電力量・積算から選択します（[その他] タブの「個別平均」にチェックを入れている場合のみ）。

③範囲

Y 軸の範囲を設定できます。

例) 電力の範囲を 0 ~ 10,000kW に設定したい場合は、左枠に「0」右枠に「10000」を入力します。画面上では指数で表示されていますが、実数を入力すると自動で変換されます。

④補助線

グラフ背景の補助線を、全体に表示するか、Y 軸上だけにするかを設定できます。

⑤軸題

Y 軸の軸題を設定できます。[詳細>>] をクリックすると、テキストのレイアウトウィンドウが表示され、フォントや文字の色などを設定できます。

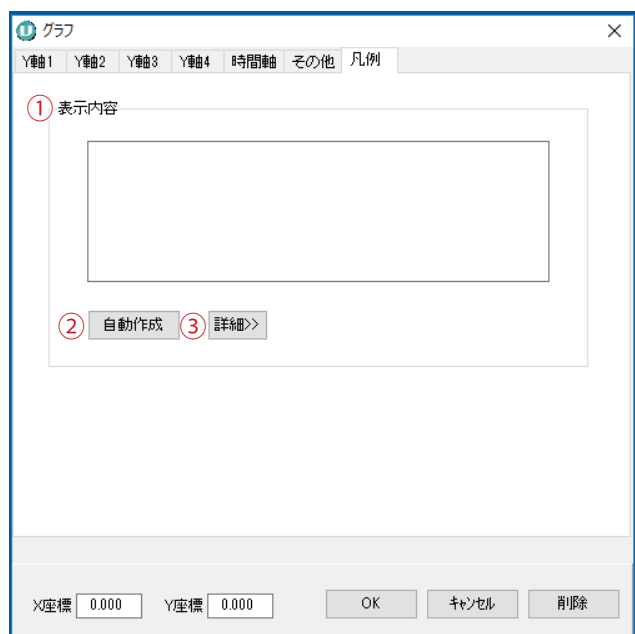
[時間軸] タブ

①軸題	X 軸（時間軸）の軸題を設定できます。
②相対指定	時間軸範囲を現在時刻からの相対指定で設定できます。時間軸の表示は、現実の時刻が進むことによって移り変わります。
③種別	範囲の種別を、日、週、月、年から設定できます。
④範囲	「今日（週／月／年）」か「○日前（週間前／ヶ月前／年前）」を選択します。
⑤開始点・終了点	種別が [日] の場合： 開始点○時○分～終了点○時○分を設定できます。 種別が [週] の場合： 開始点・終了点は設定できません。 (X 軸の範囲は月曜の 00:00～日曜の 23:59 となる) 種別が [月] の場合： 開始点・終了点は設定できません。 (X 軸の範囲は 1 日 00:00～月の最終日の 23:59 となる) 種別が [年] の場合： 開始点の月のみ設定できます。 (X 軸の範囲は設定月の 1 日 00:00～11 ヶ月後の月の最終日の 23:59 となる)
⑥絶対指定	時間軸の範囲を絶対指定で設定できます。時間軸の表示は現実の時刻が進んでも移り変わりません。
⑦開始点・終了点	時間軸範囲を絶対的な年月日時分で設定できます。
⑧自動設定	標準のトレンドグラフ、日別、週別、月別、年別の積算グラフを自動設定できます。他のタブの内容も標準に合わせて自動で設定されます。

[その他] タブ

- | | |
|----------|--|
| ①タイトル | グラフの上部に表示されるタイトルを設定できます。 詳細>> をクリックして表示されるウィンドウで、フォントや文字の色などを設定できます。 |
| ②グラフ表示形式 | グラフの表示形式を 2D・3D から選択します。 |
| ③視点 | ②で 3D を選択した場合に、X 方向・Y 方向の傾き具合を設定できます。 |
| ④棒グラフ | 棒グラフが 2 本以上あるときの表示の仕方を、重ねがき・横置き・縦置き・積み木から設定できます。 |
| ⑤重ねがき | 「2 日」以上を設定すると、設定した日付分のグラフを縦置きで設定できます。 |
| ⑥線描画 | 線グラフを描画するかどうかを選択します。 |
| ⑦マーカー描画 | 線グラフの線上にマーカーを置くことができます。マーカーの意匠は対象のタブの「イメージ」から設定できます。 |
| ⑧計算方法 | 標準・平均・電力量・積算値・連動平均から選択します。 |
| ⑨個別平均 | 設定したチャンネルごとに「計算方法」を設定できます。 |
| ⑩平均間隔 | 「計算方法」の計算する間隔を設定できます。 |
| ⑪色設定 | 色の設定ができます。 |
| ⑫背景 | 透過・板付き・銘板・板付き（角無）、画像から選択します。画像を選択した場合は、 読み込み>> から画像を設定できます。 |

[凡例] タブ



-
- ①表示内容 「[チャンネル No.] 名称」の形式で、凡例に表示する内容を設定します。
-
- ②自動作成 [Y 軸] タブで設定した通りの凡例内容を自動で作成できます。
-
- ③詳細 **詳細>>** をクリックして表示されるウィンドウで、フォントや文字の色などを設定できます。
-



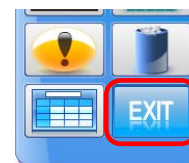
⑮ 「新規帳票」ボタン

帳票アイテムを追加する時に選択します。

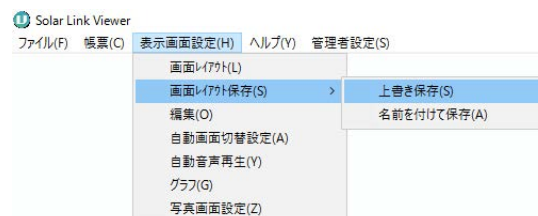
→ 設定ウィンドウの説明、帳票アイテムの追加手順は「帳票アイテムの追加」P.51 を参照。

設定の保存と画面の復元

1. ツールパレットの **EXIT** をクリックしてツールパレットを閉じます。
2. キーボードの **Esc** キーを押してメニューバーを表示します。



3. **表示画面設定メニュー**
 → **画面レイアウト保存**
 → **上書き保存** で変更内容を保存します。

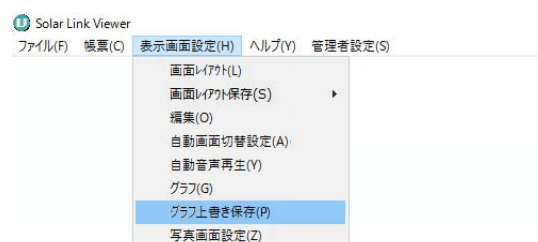


(グラフ画面の設定を変更した場合は)

表示画面設定メニュー

→ グラフ上書き保存

「グラフ上書き保存」は、グラフ画面の表示中のみ表示されます。



4. (元の状態が自動画面切替が有効であった場合には)
ファイルメニュー
 → **自動画面切替** のチェックを入れます。
5. キーボードの **Esc** キーを押して全画面表示に戻します。



上書き保存せずに画面を切り替えた場合、変更した設定が保存されませんのでご注意ください。

故障アイコンの削除・追加

1. 故障アイコンの削除

1. キーボードの **Esc** キーを押してメニューバーを表示させ、**ファイルメニュー → 自動画面切替** のチェックをはずします（設定が有効になっている場合のみ）。
2. 計測画面を表示させ、ツールパレットを表示します（P.2-3）。

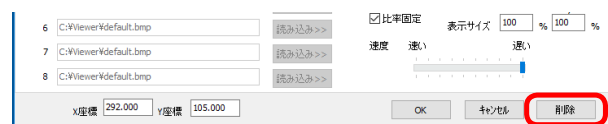
3. 故障または系統異常アイコンのレイアウト枠にマウスのカーソルをあわせて左クリックし、レイアウトウィンドウを表示します。

※ 『系統異常』『故障中』アイコンは重なって配置されている場合があります。アイコンをうまくクリックできない場合は、どちらかのアイコンの位置をずらしてそれぞれクリックしてください。



※ 上図はイメージです。

4. レイアウトウィンドウ右下の**削除**ボタンをクリックします。



5. 設定の保存と画面の復元（P.24 を参照）を行います。

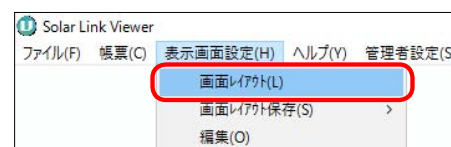
2. 故障・系統異常アイコンの追加

「新規アニメーション」ボタンを使用して追加

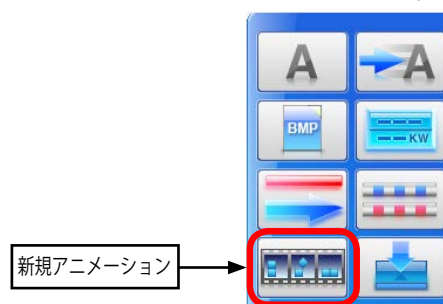
計測画面と同じアイコンで故障アイコンを表示したい場合の手順です。

1. 事前準備（P.2~3）の後、ツールパレットの**新規アニメーション**ボタンをクリックします。

※ ツールパレットは画面内をドラッグで移動させることができます。



ツールパレット



2. マウスのカーソルを画面上の任意の場所でクリックして、レイアウトウィンドウを表示します。



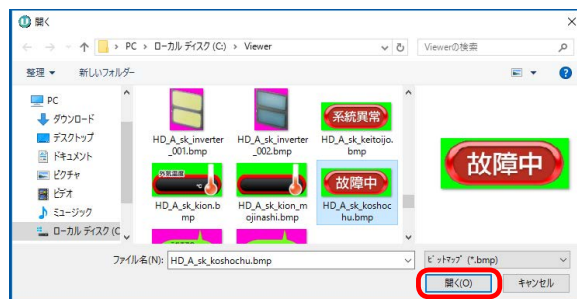
3. 左上の設定枚数を「1」にします。



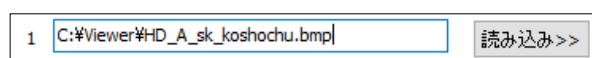
4. 「1」の「読み込み >>」をクリックします。



5. **ファイルを開く**ウィンドウが表示されるので、『故障中』（ファイル名が「sk_kosyochu.bmp」で終わるもの）もしくは『系統異常』（ファイル名が「sk_keitoijo.bmp」で終わるもの）のビットマップを選択して**開く**をクリックします。



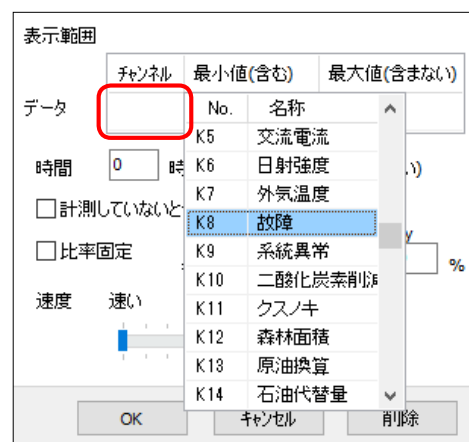
6. 「1」の入力欄に選択したファイルが設定できているか確認します。



7. **チャンネル**（赤枠部分）をダブルクリックしてプルダウンメニューを表示します。

手順6.で「故障中」のビットマップを選択した場合は「K8：故障」を、「系統異常」のビットマップを選択した場合は「K9：系統異常」を選択し、ダブルクリックで決定します。

※ 複数台のパワーコンディショナを計測している場合に上記設定（チャンネルを「K8:故障」、「K9:系統異常」）をすると、いずれか1台から故障もしくは系統異常の信号を受け取った時点で故障アイコンが表示されます。パワーコンディショナ1台毎にアイコンを表示したい場合はP.27を参照して下さい。



8. 最小値を「0.500」、最大値を「999.000」に設定し、**OK**をクリックしてレイアウトウィンドウを閉じます。



9. 画面上の任意の場所をクリックしアイコンを配置します。

※ アイコンの縦横比がずれる場合は、アイコンをクリックしてレイアウトウィンドウを表示させ、「比率固定」にチェックを入れてください。



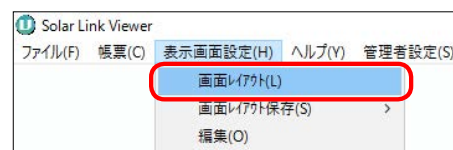
10. 設定の保存と画面の復元（P.24を参照）を行います。

「新規ウィンドウ」ボタンを使用して追加

パワーコンディショナを複数台計測している場所で、計測画面に接続台数分の故障アイコンを表示したい場合にはこちらの手順が有効です。

1. 事前準備 (P.2~3) の後、ツールパレットの**新規ウィンドウ**ボタンをクリックします。

※ ツールパレットは画面内をドラッグで移動させることができます。



ツールパレット



2. マウスのカーソルを画面上の任意の場所でクリックして、レイアウトウィンドウを表示します。

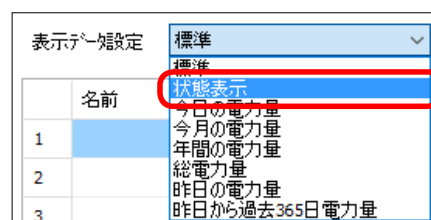


3. タイトル欄に「パワコン1：故障」や「パワコン2：系統異常」等、任意でアイコンの名称を入力します。アイコンを大きくしたい場合は、[テキスト] タブで文字のサイズを大きくして下さい。

※ テキストの設定は P.5~7 を参照。



4. 「表示データ設定」で**状態表示**を選択します。



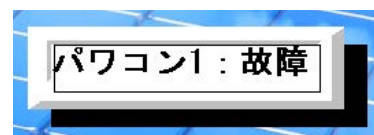
5. **チャンネル** (赤枠部分) をダブルクリックしてプルダウンメニューを表示します。「K8：故障」または「K9：系統異常」を選択し、ダブルクリックで決定します。

チャンネル	桁1	桁2	最小値(含まない)
		No.	名称
		K6	日射強度
		K7	外気温度
		K8	故障
		K9	系統異常
		K10	二酸化炭素削減
		K11	クスノキ

6. 「チャンネル」を設定した行の最小値を「**0.500**」、最大値を「**999.0**」に設定し、**OK** をクリックしてレイアウトウィンドウを閉じます。

チャンネル	桁1	桁2	最小値(含まない)	最大値(含む)
K08	5	1	0.500	999.0
	5	1	999.000	999.0

7. 画面上の任意の場所をクリックしアイコンを配置します。



8. 設定の保存と画面の復元 (P.24 を参照) を行います


写真の追加・変更

【取り込み可能な画像ファイル】

画像ファイルのサイズはご利用のディスプレイの解像度と同じもので、JPEG 形式のものをご用意ください。ご利用のディスプレイの解像度は、**Esc キー → ヘルプメニュー → バージョン情報** でご確認ください。

【事前準備】

用意した画像ファイルを記録媒体 (USB メモリーや CD-ROM) に保存して下さい。

1. キーボードの **Esc キー** を押してメニューバーを表示させ、**ファイルメニュー → 自動画面切替** のチェックをはずし (設定が有効になっている場合のみ)、画面右上の「最小化 」ボタンをクリックして画面を最小化します。
2. 記録媒体を計測パソコンに挿入します。用意した画像ファイルをコピーします。
3. デスクトップ上の PC アイコン → 「Viewer」フォルダ (目次ページ下部を参照) をクリックして開きます。



4. 「Viewer」フォルダ内にコピーした画像ファイルを貼り付けし、すべてのフォルダを閉じます。記録媒体は計測パソコンから正しい方法で取り出します。



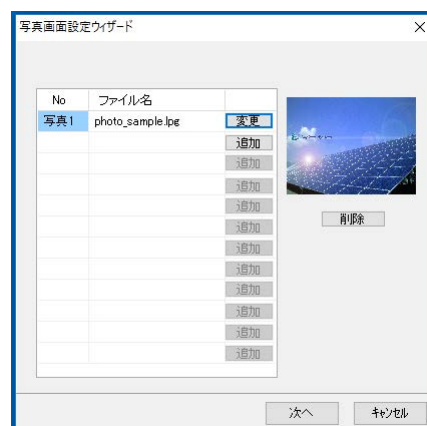
5. マウスのカーソルを画面下方に移動させ、タスクバー上の Viewer アイコンをクリックし、画面を最大化します。



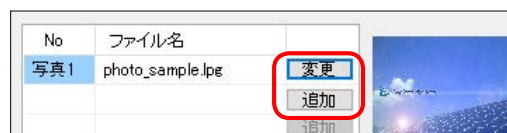
6. **表示画面設定メニュー → 写真画面設定** をクリックします。



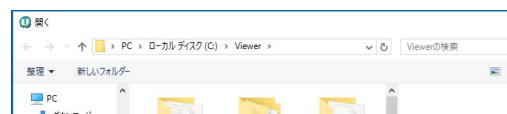
7. **写真画面設定ウィザード** ウィンドウが表示されます。



8. すでに設定している写真を変更をしたい場合は**変更**を、写真を追加したい場合は**追加**をクリックします。



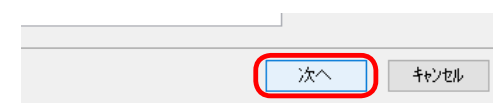
9. **開く**ウィンドウが表示されます。「Viewer」フォルダにコピーした画像ファイルを選択し、**開く**をクリックします。



10. **写真画面設定ウィザード**ウィンドウのファイル名欄に選択したファイルが表示されていることを確認し、さらにファイル名をクリックして右側の枠内に画像がプレビュー表示されることを確認します。

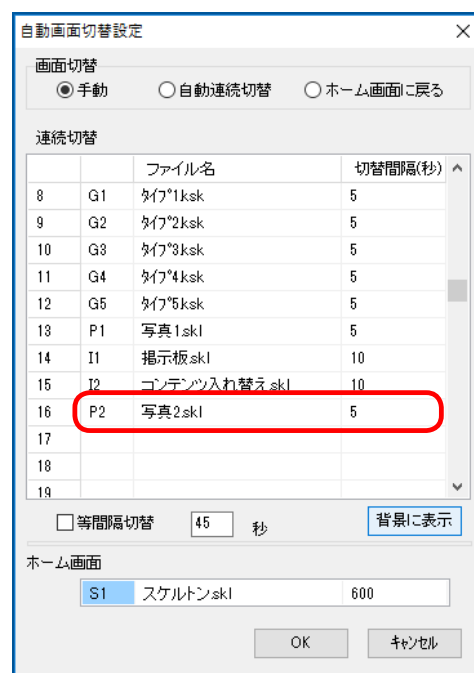


11. **次へ**をクリックします。



12. **自動画面切替設定**ウィンドウが表示されます。手順8. で写真を追加した場合は、「連続切替」のファイル名の一番下に「写真2.sk1」が追加されていることを確認します。写真を変更した場合は、「写真1.sk1」をクリックで選択してから、「背景に表示」をクリックし、画面をプレビュー表示して変更の確認をすることができます。

- ※ ここでのファイル名は、用意した画像ファイルのファイル名ではなく、『写真1』『写真2』…等、「写真画面設定ウィザード」における『No.』名になります。
- ※ 切替間隔は自動的に5秒で設定されますが、クリックして任意の秒数を入力することができます。
- ※ 「背景に表示」をクリックすると、選択中の「ファイル名」の画像をプレビュー表示できます。



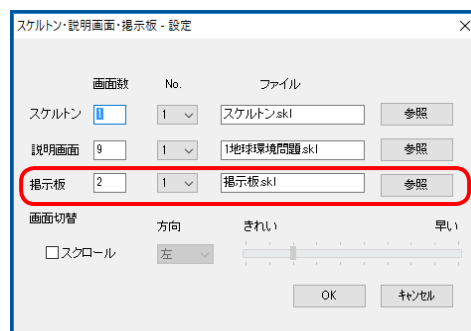
13. **OK** をクリックして**自動画面切替設定**ウィンドウを閉じます。キーボードの F4 キーまたはボタンメニューで写真画面に切り替え、画像が反映されているかを確認します。

14. **ファイルメニュー** → **自動画面切替** のチェックを入れて (元々設定されていた場合のみ)、キーボードの **Esc** キーを押して全画面表示に戻します。

掲示板の追加

設定の前に・・・

掲示板画面の画面数は右のウィンドウで設定しています。
 初期設定では2画面表示されるように設定しており、ボタンメニューの掲示板ボタンやキーボードのF5キーを押す毎に掲示板画面とユーザーコンテンツ画面が切り替わって表示されます。
 掲示板画面を追加したい場合は、このウィンドウで画面数を増やす必要があります。詳細は下記の手順をご確認ください。



【事前準備】

追加したい画像ファイルを記録媒体 (USB メモリーなど) に保存して下さい。

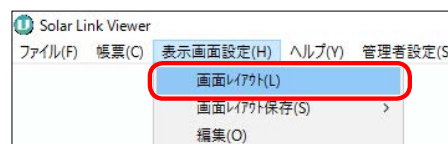


掲示板画面のテストは全部で 14 種類ご用意しております。
 別のテストを追加したい場合は、「Viewer」フォルダ直下の「掲示板」フォルダ内にある画像から任意のものを選択し、「Viewer」フォルダの直下へ移動させてください。

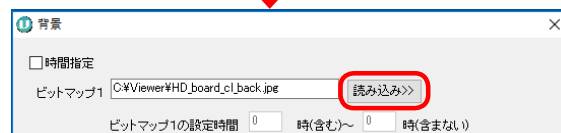
1. キーボードの **Esc** キーを押してメニューバーを表示させ、**ファイルメニュー** → **自動画面切替** のチェックをはずし (設定が有効になっている場合のみ)、画面右上の「最小化」 をクリックして画面を最小化します。
2. 記録媒体を計測パソコンに挿入して、用意した画像ファイルをコピーします。
3. デスクトップ上の PC アイコン → 「Viewer」フォルダ (目次ページ下部を参照) をクリックして開きます。
4. 「Viewer」フォルダ内にコピーした画像ファイルを貼り付けし、すべてのフォルダを閉じます。記録媒体は計測パソコンから正しい方法で取り出します。



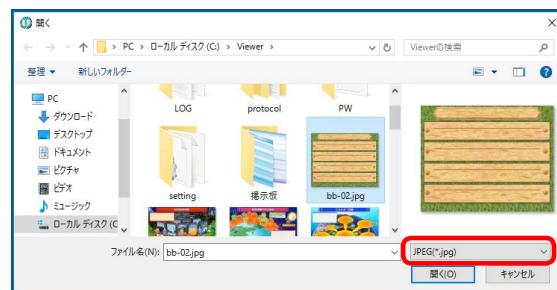
5. マウスのカーソルを画面下方に移動させ、タスクバー上の Viewer アイコンをクリックして画面を最大化します。
6. 掲示板画面になっているか確認し、**表示画面設定メニュー** → **画面レイアウト** をクリックして、ツールパレットを表示します。



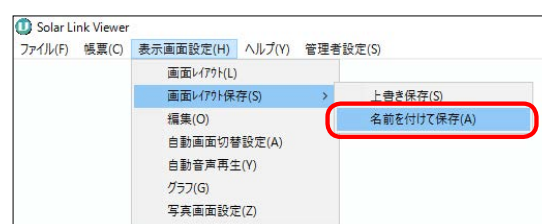
7. **背景** ボタンをクリックして、表示されたウィンドウの **読み込み** ボタンをクリックします。



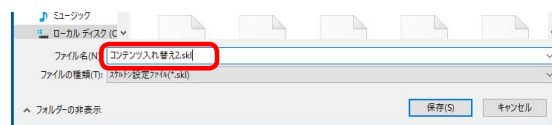
8. **開く** ウィンドウが表示されます。
 ファイル形式で **JPEG** を選択し、Viewer フォルダに追加した画像を選択したら **OK** をクリックします。



9. 追加した画像が掲示板画面に表示されます。ツールパレットの **EXIT** ボタンをクリックし、**表示画面設定メニュー** → **画面レイアウト保存** → **名前を付けて保存** をクリックします。



10. **名前を付けて保存** ウィンドウが表示されます。ファイル名を「**コンテンツ入れ替え 2.sk1**」に変更して **保存** をクリックします。

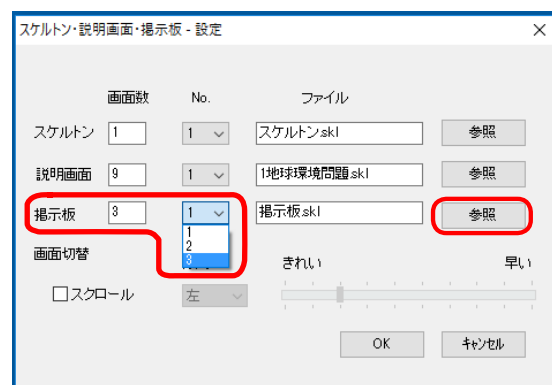


11. **表示画面設定メニュー** → **編集** をクリックします。



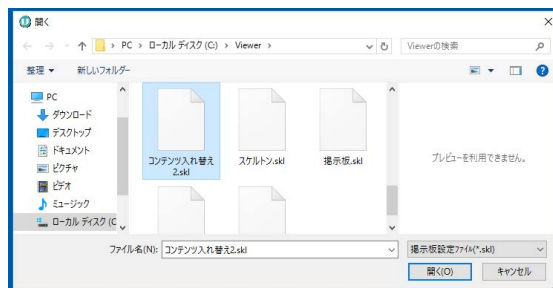
12. 右のウィンドウが表示されます。
 掲示板の「画面数」に、追加した画像の枚数を加えた総数を入力します。ファイルを設定していない「No.」を選択して、**参照** をクリックします。

※ 初期設定では掲示板画面の画面数は 2 画面 (掲示板画面 1 枚・ユーザーコンテンツ画面 1 枚) で設定していますので、画面を 1 枚追加する場合は、既存の 2 枚+追加の 1 枚で、画面数には「3」を入力し、「No.」のプルダウンでは「3」を選択します。



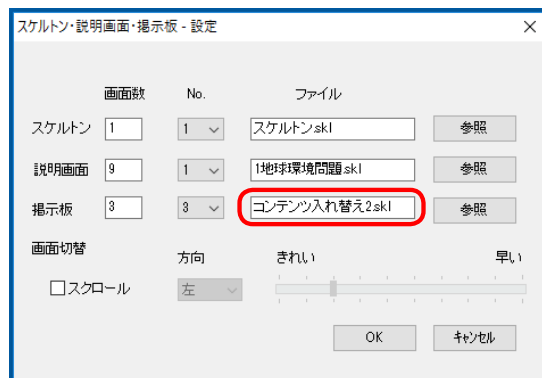
13. **開く** ウィンドウが開きます。

手順 10. で保存した「コンテンツ入れ替え 2.skf」ファイルを選択し、**開く**をクリックします。

14. 「ファイル」に「コンテンツ入れ替え 2.skf」が設定されたことを確認し、**OK**をクリックして右のウィンドウを閉じます。

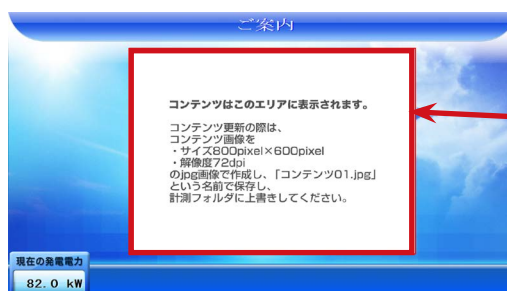
掲示板画面のボタンメニューもしくはキーボードの F5 キーを押して、追加した画像が表示されるかを確認します。

※ 画面の切替を自動に設定 (P.2) にした際に、追加した画像を表示させるためには、自動画面切替設定で画像を追加する必要があります (P.34~35)。

15. **ファイルメニュー** → **自動画面切替** のチェックを入れて (元々設定されていた場合のみ)、キーボードの **Esc** キーを押して全画面表示に戻します。

ユーザーコンテンツ画面の入替


ユーザーコンテンツ画面には初期設定ではダミーコンテンツが登録されていますが、任意の画像 (JPEG 形式) に変更することができます。画像ファイルのサイズは赤枠内に記載のもの、解像度は 72dpi、容量は 1 枚につき 1MB までを推奨します。



この枠内の画像を入れ替える方法です。

【事前準備】

用意した画像ファイルを記録媒体 (USB メモリーや CD-ROM) に保存して下さい。画像ファイル名は『コンテンツ 01.jpg』に変更して下さい。

1. キーボードの **Esc キー** を押してメニューバーを表示させ、**ファイルメニュー → 自動画面切替** のチェックをはずし (設定が有効になっている場合のみ)、ウィンドウ右上の「最小化 」をクリックして画面を最小化します。

2. 記録媒体を計測パソコンに挿入して、用意した画像ファイルをコピーします。

3. デスクトップ上の PC アイコン → 「Viewer」フォルダ (目次ページ下部を参照) をクリックして開きます。



4. 「Viewer」フォルダ内にコピーした画像ファイル (コンテンツ 01.jpg) を貼り付けます。

既に同名のファイルが存在することを示すウィンドウが表示されますので、「コピーして置き換える」を選択します。

「Viewer」フォルダおよびコンピュータウィンドウを閉じます。記録媒体は計測パソコンから正しい方法で取り出します。



5. マウスのカーソルを画面下方に移動させ、タスクバー上の Viewer アイコンをクリックし、画面を最大化します。



6. キーボードの F5 キーまたはボタンメニューでユーザーコンテンツ画面に切り替え、ユーザーコンテンツ画面が変更されていることを確認します。

7. **ファイルメニュー → 自動画面切替** のチェックを入れて (元々設定されていた場合のみ)、キーボードの **Esc キー** を押して全画面表示に戻します。

自動画面切替の設定

本ソフトウェアの5種類ある画面（計測画面・説明画面・グラフ画面・写真画面・掲示板画面）の切替方法や切替順序、切替間隔などを設定することができます。

1. キーボードの **Esc** キーを押してメニューバーを表示させ、**ファイルメニュー** → **自動画面切替** のチェックをはずし（設定が有効になっている場合のみ）、**表示画面設定メニュー** → **自動画面切替設定** を選択して自動画面切替設定ウィンドウを表示します。



2. ウィンドウ上部の「画面切替」で、下記のいずれかを選択します

◆手動

手動（ボタンメニューおよびキーボード操作）で画面を切り替えます。

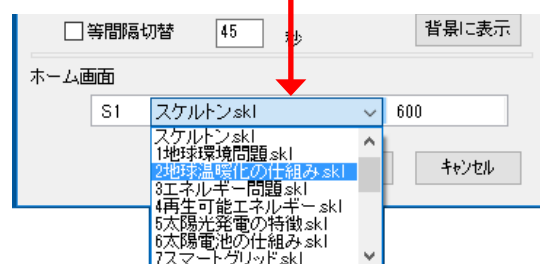
◆自動連続切替

自動で画面を切り替えます（切替の順番および間隔（秒）は「連続切替」の設定に従います）。自動画面切替メニュー（P.2）の操作でも設定が可能です。

◆ホーム画面に戻る

手動（マウスまたはキーボード操作）で画面を切り替えます。但し、自動画面切替設定ウィンドウ下部の「ホーム画面」で設定した時間（右図では600秒）内に画面操作が行われない場合、ホーム画面（右図ではスケルトン .skl（計測画面））に戻ります。

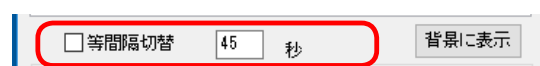
ホーム画面は「ファイル名」をクリックして変更することができます。



3. 「等間隔切替」にチェックを入れると、全ての画面が同じ秒数で切り替わります。

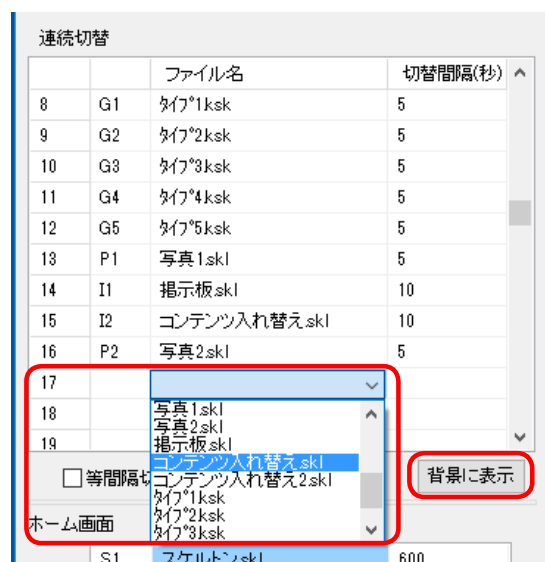
※ 右の場合、「等間隔切替」にチェック入れると、全ての画面が45秒で切り替わります。

※ 秒数は変更できます。



4. 切り替える画面の順序変更および追加をする場合は、「連続切替」の変更したいファイル名、もしくは空白の行にカーソルを合わせてクリックします。プルダウンメニューが表示されるので、変更または追加で表示したい画面を選択します。ファイル名右横の切替間隔（秒）では自動連続切替に設定した際の各画面の切替間隔を設定します。
※ 自動連続切替した際に表示したくない画面は、切替間隔を『0 秒』に設定して下さい。

ファイルを選択し、**背景に表示**をクリックするとその画面をプレビューすることができます。



5. **OK** をクリックして自動画面切替設定ウィンドウを閉じます。
6. **ファイルメニュー** → **自動画面切替** のチェックを入れて（元々設定されていた場合のみ）、キーボードの **Esc** キーを押して全画面表示に戻します。

動画アイテムの追加

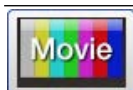
任意の画面に動画をアイテムとして追加することができます。

動画アイテムは、動画ファイルを最大 20 まで登録可能な動画リストを指定して配置します。

動画リストで再生順序を決めることで、複数の動画を連続再生することができます。

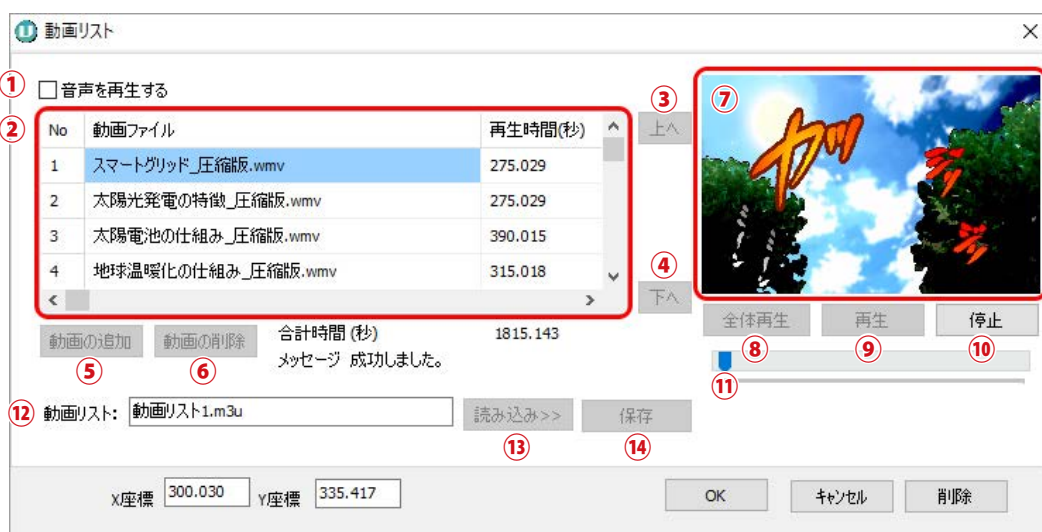
動画リストは、Solar Link Viewer 搭載パソコン（以下、計測パソコン）ではもちろん、計測パソコン以外のパソコンでも作成・編集することができます (P.40)。

1. 動画リストウィンドウ



① 「新規動画」 ボタン

動画アイテムを追加する時に選択します。



- | | |
|-----------|---|
| ① 音声を再生する | チェック (☑) を入れると、動画ファイルの音声を再生する設定にします。
※メニューバーの表示画面設定メニュー→自動音声再生にもチェックが必要です。 |
| ② 動画一覧 | 動画リストに登録された動画一覧を表示します。 |
| ③ 上へ | 動画一覧で選択した動画を、一つ上の位置へ移動します。 |
| ④ 下へ | 動画一覧で選択した動画を、一つ下の位置へ移動します。 |
| ⑤ 動画の追加 | 任意の動画を、動画一覧の最後へ追加します。 |
| ⑥ 動画の削除 | 動画一覧で選択した動画を、動画一覧から削除します。
※動画ファイル自体は削除されません。 |
| ⑦ プレビュー | 動画一覧に追加した動画をプレビューします。 |
| ⑧ 全体再生 | 動画一覧の全動画を上から順に、プレビューで再生します。 |
| ⑨ 再生 | 動画一覧で選択した動画を、プレビューで再生します。 |
| ⑩ 停止 | プレビューで再生中の動画を停止します。 |
| ⑪ シークバー | 左右に移動させ、プレビューで再生中の動画の再生箇所を変更します。 |
| ⑫ 動画リスト | 現在の動画リストを表示します。 |
| ⑬ 読み込み | 登録済の動画リストを読み込みます。 |
| ⑭ 保存 | 編集中の動画リストを保存します。 |

2. 動画アイテムの作成・編集・配置

【動画ファイル・動画リストの標準仕様】

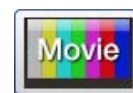
動画ファイル	
ファイル形式	AVI (.avi)、ASF (.asf)、Windows Media Video (.wmv)
コーデック	Windows Media Video 9
容量	最大 9GB ※全動画合計は最大 300GB
再生時間	最長 3600 秒 (= 1 時間)
解像度 (フレームサイズ)	幅 1920pixel × 高さ 1080pixel
動画リスト	
ファイル形式	M3U (.m3u)
容量	最大 180GB
再生時間	最長 72000 秒 (= 20 時間)
登録可能件数	1 画面には 1 動画リストのみ、1 動画リストには最大 20 動画ファイル

作成・編集を計測パソコンで行う

- 追加したい動画ファイルを、計測パソコンの任意の場所へ格納します。
- キーボードの **Esc** キーを押してメニューバーを表示させ、**ファイルメニュー** → **自動画面切替** のチェックをはずします (設定が有効になっている場合のみ)。
- 動画を再生したい画面へ移動し、**表示画面設定メニュー** → **画面レイアウト** でツールパレットを表示します。

4. ◆動画アイテムを新たに配置する場合

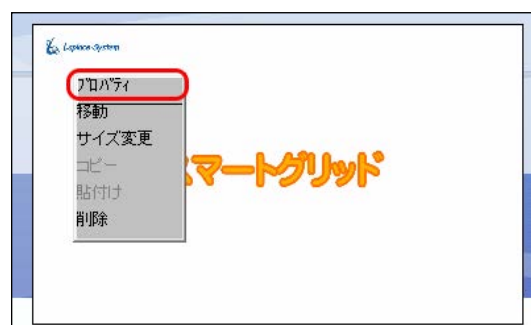
新規動画 ボタンをクリックし、手順 5. へ進みます。



新規動画ボタン

◆配置済の動画アイテムの動画リストを編集する場合

配置済の動画アイテム上で右クリックしてプロパティを選択 (または動画アイテムの左上と右下以外をクリック) し、手順 6. へ進みます。



動画アイテム上で右クリック

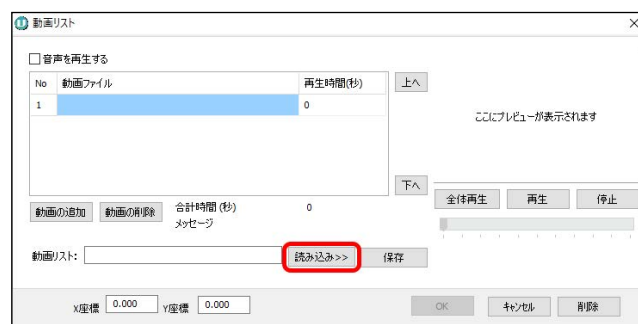
- マウスのカーソルを、画面上の任意の場所でクリックし、**動画リスト** ウィンドウを表示します。

◆動画リストを新規作成する場合

手順 6. へ進みます。

◆動画リストを読み込む場合

読み込み ボタンをクリックし、編集したい動画リストを選択し、手順 6. へ進みます。



動画リストウィンドウ

6. ◆動画一覧に動画ファイルを追加する場合

動画の追加ボタンをクリックします。追加したい動画ファイルを選択して開くをクリックすると、動画一覧の最後に挿入されます。追加登録したい動画ファイルが複数ある場合は、この操作を繰り返します。

※動画一覧に動画が追加されるまで、時間がかかる場合があります。

※動画一覧に追加した動画ファイルは、Viewerフォルダへ自動的にコピーされます。

No	動画ファイル	再生時間(秒)	上へ
1	スマートグリッド_圧縮版.wmv	275.029	
2	太陽光発電の特徴_圧縮版.wmv	275.029	
3	太陽電池の仕組み_圧縮版.wmv	390.015	
4	地球温暖化の仕組み_圧縮版.wmv	315.018	
		合計時間(秒)	1815.143
		メッセージ	

動画の追加ボタン / 動画の削除ボタン

◆動画一覧から動画ファイルを削除する場合

動画一覧で動画ファイルを選択し、動画の削除ボタンをクリックします(動画ファイル自体は削除されません)。

◆動画ファイルの再生順序を変更する場合

動画一覧で動画ファイルを選択し、上へボタンまたは下へボタンをクリックして、再生順序を変更します。

No	動画ファイル	再生時間(秒)	上へ
1	スマートグリッド_圧縮版.wmv	275.029	
2	太陽光発電の特徴_圧縮版.wmv	275.029	
3	太陽電池の仕組み_圧縮版.wmv	390.015	
4	地球温暖化の仕組み_圧縮版.wmv	315.018	
		合計時間(秒)	1815.143
		メッセージ	

上へボタン / 下へボタン

7. 動画一覧の編集が終わったら、保存ボタンをクリックして動画リストを保存し、OKボタンをクリックします。

※動画リストは、Viewerフォルダへ保存されます。

動画の追加	動画の削除	合計時間(秒)	0
		メッセージ	
動画リスト:	<input type="text"/>	読み込み>>	保存

保存ボタン

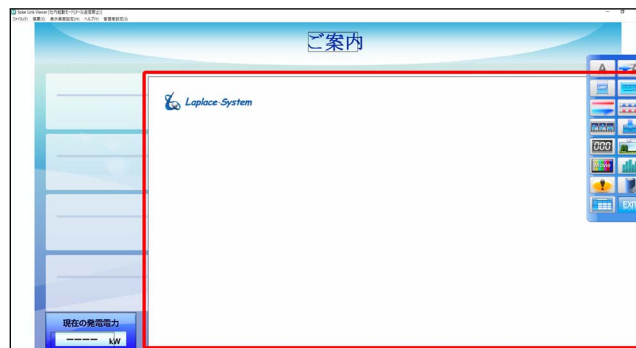
◆動画アイテムを新たに配置する場合：手順 8. へ進みます。

◆配置済の動画アイテムを編集した場合：手順 9. へ進みます。

8. 画面上の任意の場所でクリックし、動画アイテムの左上部分の大きさを決定します。

※この時点では、画面上に動画はプレビュー表示されません。

手順 11. でツールパレットの EXIT ボタンをクリックした後に、プレビュー表示されます。

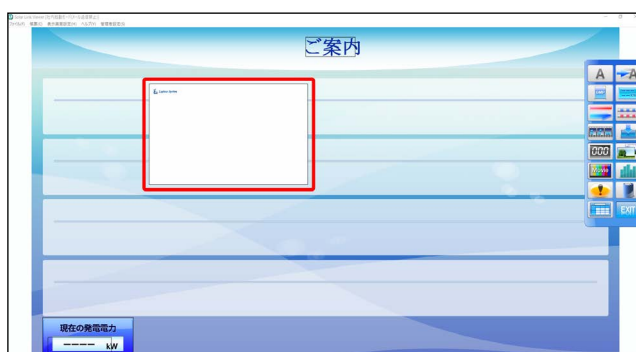


9. ◆動画アイテムのサイズを変更する場合

動画アイテム上で右クリックしてサイズ変更を選択(または動画アイテムの右下をクリック)し、画面上の任意の場所でクリックすると、動画アイテムのサイズを変更できます。



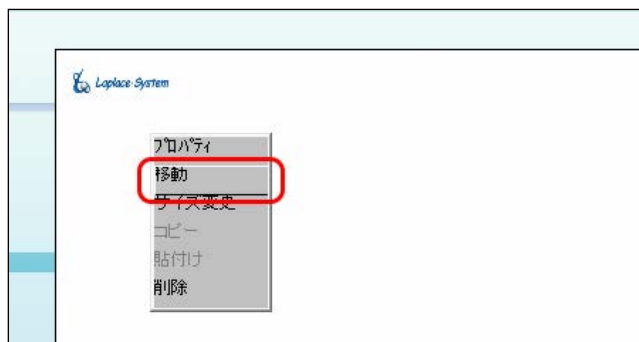
動画アイテム上で右クリック



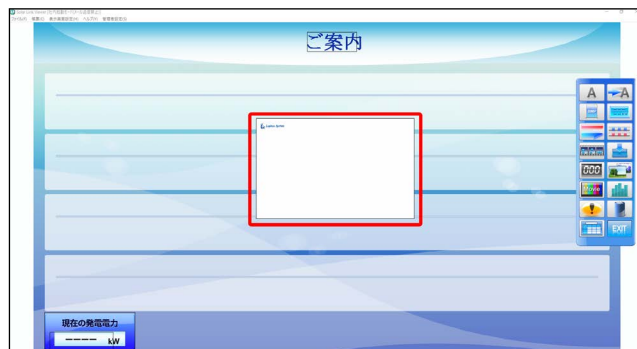
動画アイテムのサイズを変更

10. ◆動画アイテムの位置を変更する場合

動画アイテム上で右クリックして**移動**を選択（または動画アイテムの左上をクリック）し、画面上の任意の場所でクリックすると、動画アイテムの位置を変更できます。



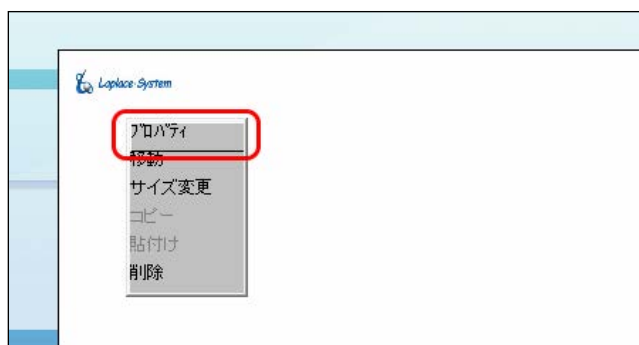
動画アイテム上で右クリック



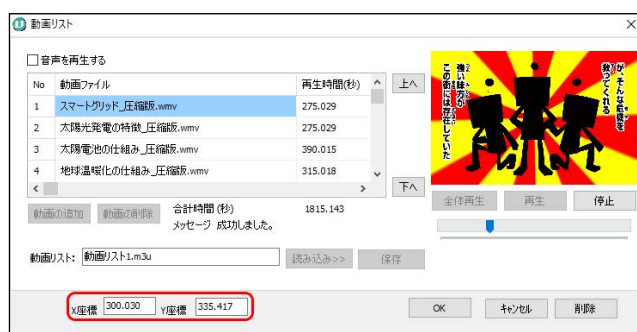
動画アイテムを移動

◆動画アイテムの位置を微調整する場合

動画アイテム上で右クリックして**プロパティ**を選択（または動画アイテムの左上と右下以外をクリック）し、**動画リスト**ウィンドウのX座標とY座標を指定すると、動画アイテムの位置を微調整できます。



動画アイテム上で右クリック



座標指定で動画アイテムの位置を微調整

11. ツールパレットの **EXIT** ボタンをクリックすると、画面上に動画がプレビュー表示されます。



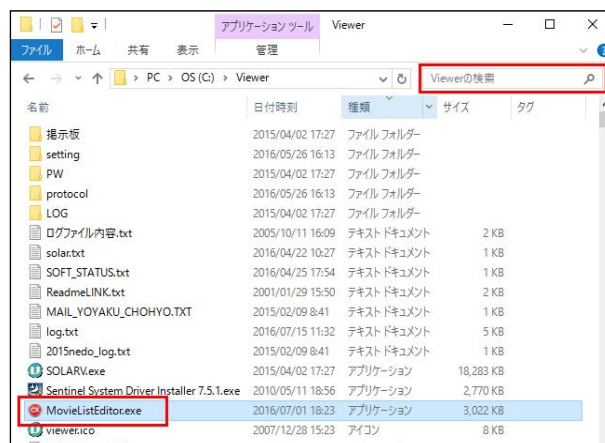
EXIT ボタン

12. 表示画面設定メニュー→画面レイアウト保存→上書き保存を選択し、配置した動画アイテムを保存します。

13. ファイルメニュー→自動画面切替のチェックを入れて（元々設定されていた場合のみ）、キーボードの **Esc** キーを押して全画面表示に戻します。

作成・編集を計測パソコン以外で行う（動画リストエディタを使用）

1. Viewerフォルダに格納されている **MovieListEditor.exe**（以下、**動画リストエディタ**）を、USBメモリ等へコピーし、任意のパソコンのデスクトップ等へ貼り付けます。
※ MovieListEditor.exe が見つげにくい場合は、「Viewerの検索」と表示されたエリアに「Movie」と入力して検索して下さい。



2. 動画リストエディタをダブルクリックで起動し、**MovieListEditor** ウィンドウを表示します。
※前節「計測パソコンで行う場合」の動画リストウィンドウと、機能的には同じです（ボタンの名称や配置等が異なります）。

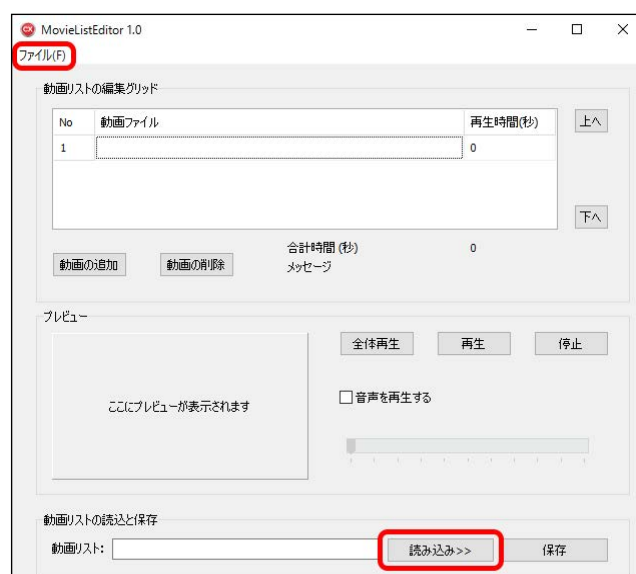
◆動画リストを新規作成する場合

手順 3. へ進みます。

◆動画リストを編集する場合

読み込みボタンをクリック（または**ファイルメニュー**→**読み込み**を選択）し、編集したい動画リストを選択して手順 3. へ進みます。

※編集中の動画リストを保存（または破棄）し、別の動画リストを新規作成する場合は、**ファイルメニュー**→**新規作成**を選択します。
※編集中の動画リストを保存（または破棄）し、別の動画リストを読み込む場合は、**ファイルメニュー**→**読み込み**を選択します。

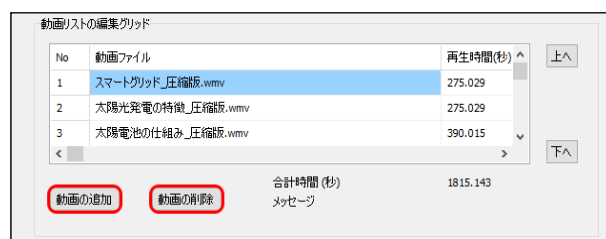


MovieListEditor ウィンドウ

3. ◆**動画一覧に動画ファイルを追加する場合**

動画の追加ボタンをクリックします。追加したい動画ファイルを選択して**開く**をクリックすると、動画一覧の最後に挿入されます。追加登録したい動画ファイルが複数ある場合は、この操作を繰り返します。

※動画一覧に動画が追加されるまで、時間がかかる場合があります。
※動画一覧に追加した動画ファイルは、動画リストエディタと同じフォルダへ自動的にコピーされます。



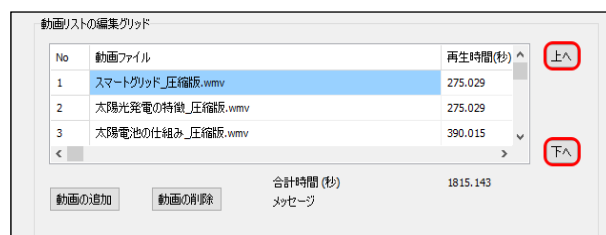
動画の追加ボタン / 動画の削除ボタン

◆動画一覧から動画ファイルを削除する場合

動画一覧で動画ファイルを選択し、**動画の削除**ボタンをクリックします（動画ファイル自体は削除されません）。

◆動画ファイルの再生順序を変更する場合

動画一覧で動画ファイルを選択し、**上へ**ボタンまたは**下へ**ボタンをクリックして、再生順序を変更します。



上へボタン / 下へボタン

4. 動画一覧の編集が終わったら、**保存**ボタンをクリック（または**ファイルメニュー→保存**を選択）し、動画リストを保存します。

※動画ファイルと同じフォルダへ保存してください。



保存ボタン

5. ウィンドウ右上の「×」（または**ファイルメニュー→終了**）をクリックします。
6. 作成した動画リストと、その動画リストに含まれる全ての動画ファイルを USB メモリ等へコピーし、計測パソコンの Viewer フォルダへ貼り付けます。
7. キーボードの **Esc キー**を押してメニューバーを表示させ、**ファイルメニュー→自動画面切替**のチェックをはずします（設定が有効になっている場合のみ）。
8. 動画を再生したい画面へ移動し、**表示画面設定メニュー→画面レイアウト**でツールパレットを表示します。

9. ◆**動画アイテムを任意の画面へ新たに配置する場合**

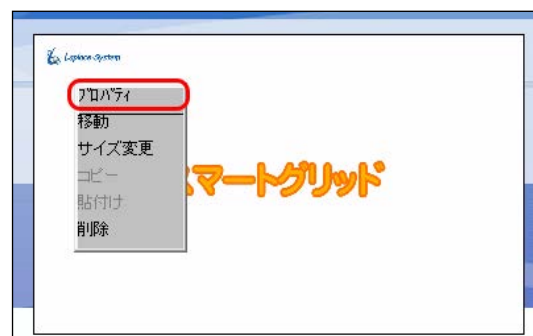
新規動画ボタンをクリックした後、マウスのカーソルを画面上の任意の場所でクリックして**動画リスト**ウィンドウを表示し、手順 10.へ進みます。



新規動画ボタン

◆**任意の画面へ配置済の動画アイテムに、新たな動画リストを読み込ませる場合**

配置済の動画アイテム上で右クリックして、**プロパティ**を選択（または動画アイテムの左上と右下以外をクリック）し、手順 10.へ進みます。



動画アイテム上で右クリック

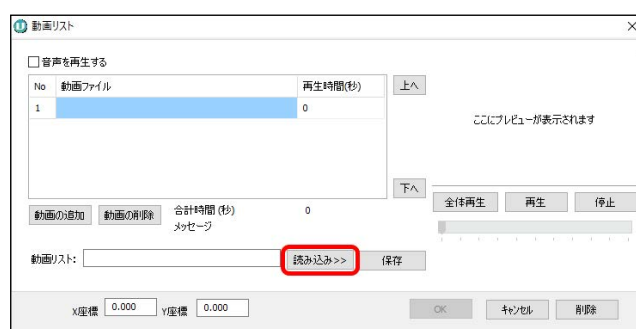
10. **読み込み**ボタンをクリックし、動画リストを選択します。

◆**動画アイテムを任意の画面へ新たに配置する場合**

手順 11.へ進みます。

◆**任意の画面へ配置済の動画アイテムに、新たな動画リストを読み込ませる場合**

手順 12.へ進みます。

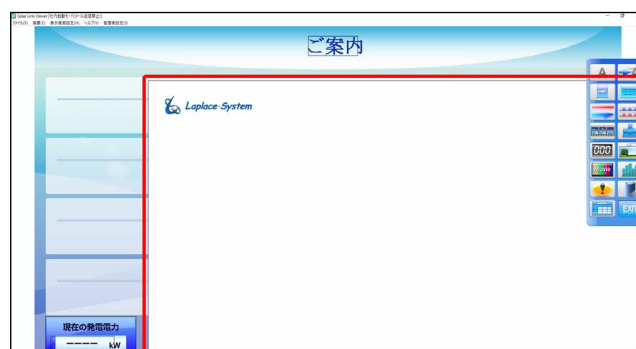


動画リストウィンドウ

11. 画面上の任意の場所でクリックし、動画アイテムの左上部分の大まかな配置を決定します。

※この時点では、画面上に動画はプレビュー表示されません。

手順 14.でツールパレットの **EXIT** ボタンをクリックした後に、プレビュー表示されます。



12. ◆動画アイテムのサイズを変更する場合

動画アイテム上で右クリックして**サイズ変更**を選択（または動画アイテムの右下をクリック）し、画面上の任意の場所でクリックすると、動画アイテムのサイズを変更できます。



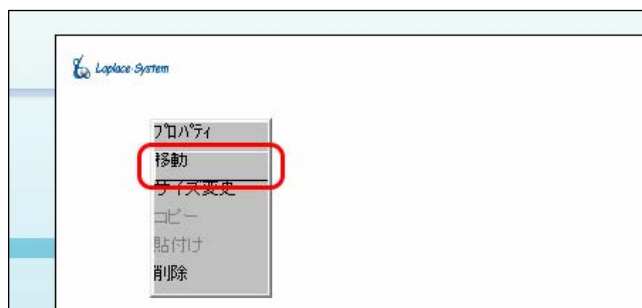
動画アイテム上で右クリック



動画アイテムのサイズを変更

13. ◆動画アイテムの位置を変更する場合

動画アイテム上で右クリックして**移動**を選択（または動画アイテムの左上をクリック）し、画面上の任意の場所でクリックすると、動画アイテムの位置を変更できます。



動画アイテム上で右クリック



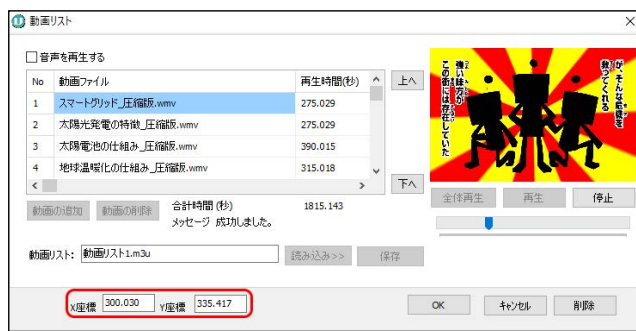
動画アイテムを移動

◆動画アイテムの位置を微調整する場合

動画アイテム上で右クリックして**プロパティ**を選択（または動画アイテムの左上と右下以外をクリック）し、**動画リスト**ウィンドウの X 座標と Y 座標を指定すると、動画アイテムの位置を微調整できます。



動画アイテム上で右クリック



座標指定で動画アイテムの位置を微調整

14. ツールパレットの **EXIT** ボタンをクリックすると、画面上に動画がプレビュー表示されます。



EXIT ボタン

15. 表示画面設定メニュー→画面レイアウト保存→上書き保存を選択し、配置した動画アイテムを保存します。

16. ファイルメニュー→自動画面切替のチェックを入れて（元々設定されていた場合のみ）、キーボードの **Esc** キーを押して全画面表示に戻します。

グラフアイテムの追加

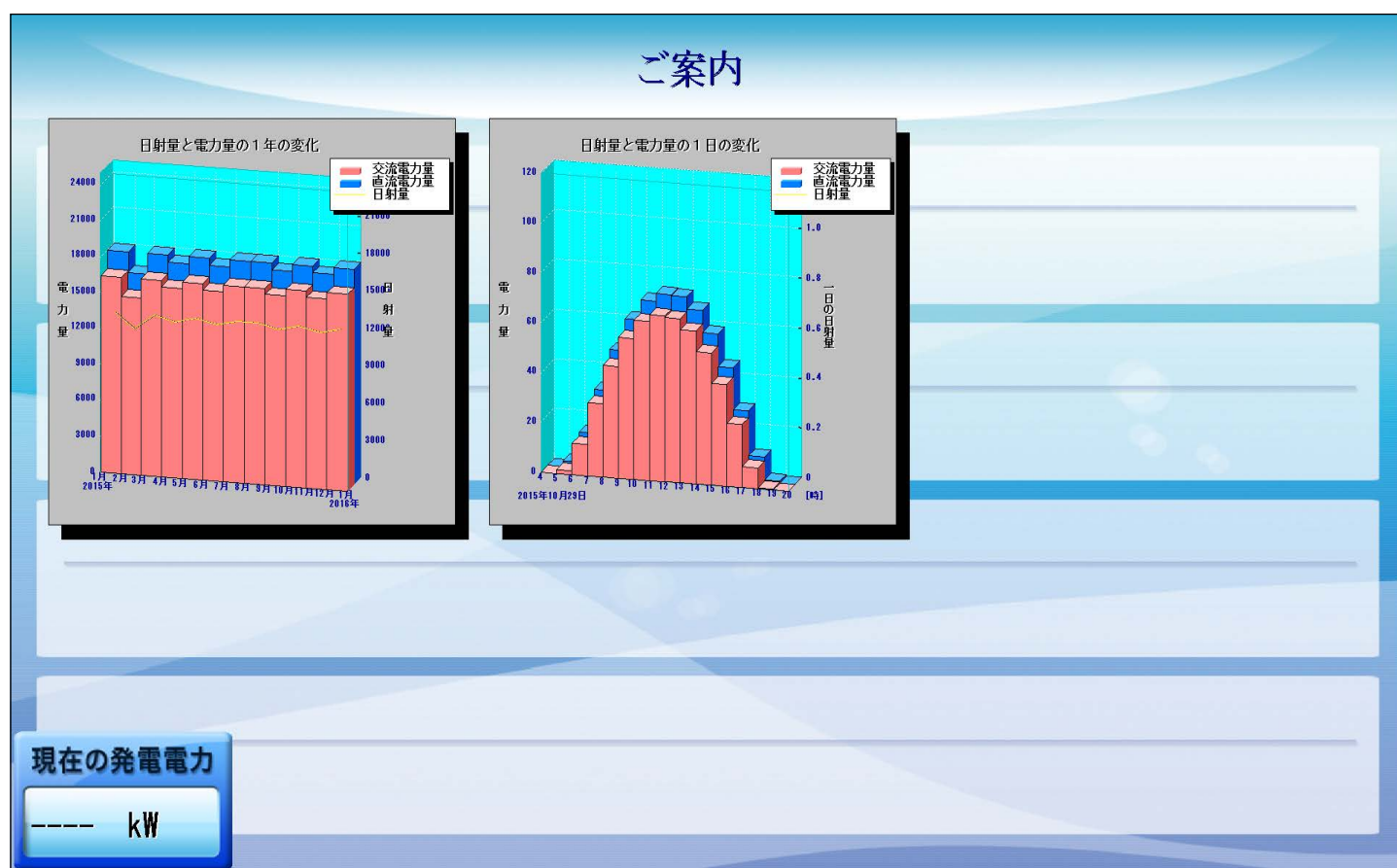
任意の画面に、各種グラフを最大3つまでアイテムとして追加することができます。

1. グラフウィンドウ

「**12**新規グラフ」ボタン P.20～23 を参照。

2. グラフアイテムの作成・編集・配置

ここでは例として、電力量・日射量の日別グラフ（本日分）、ならびに年別グラフ（今年分）を、掲示板画面にて以下のように配置する手順を示します。



グラフアイテムを新規で作成・編集

1. キーボードの **Esc** キーを押してメニューバーを表示させ、**ファイルメニュー** → **自動画面切替** のチェックをはずします (設定が有効になっている場合のみ)。

2. グラフアイテムを配置したい画面へ移動後、**表示画面設定メニュー** → **画面レイアウト** でツールパレットを表示し、**新規グラフボタン**をクリックします。



新規グラフボタン

3. マウスのカーソルを画面上の任意の場所でクリックし、**グラフウィンドウ**を表示します。

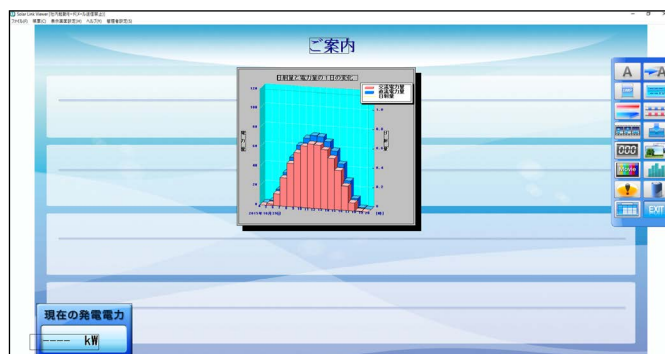
[**時間軸**] タブの「自動設定」にて、表示させたいグラフの種別 (トレンド、日別、週別、月別、年別のいずれか) のボタンをクリックします。ここでは「**日別**」を選択します。

「**相対指定**」にチェックが有り、「種別」は「**日**」、プルダウンは「**今日**」が選択されていることを確認し、**OK** ボタンをクリックします。



グラフウィンドウ

4. 画面上の任意の場所でクリックし、グラフアイテムの左上部分の大まかな配置を決定します。

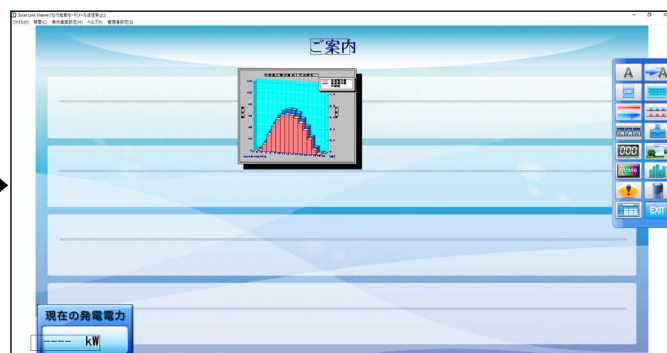


5. ◆グラフアイテムのサイズを変更する場合

グラフアイテム上で右クリックして**サイズ変更**を選択 (またはグラフアイテムの右下をクリック) し、画面上の任意の場所でクリックすると、グラフアイテムのサイズを変更できます。



グラフアイテム上で右クリック



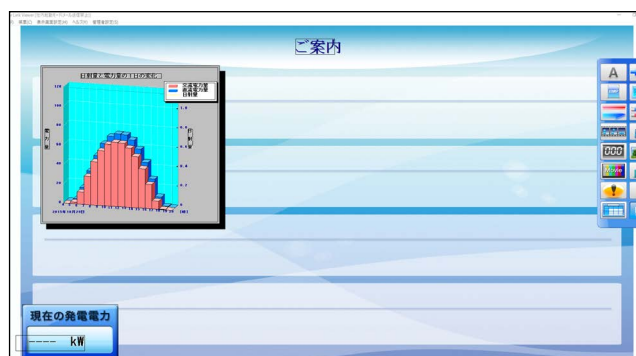
グラフアイテムのサイズを変更

6. ◆グラフアイテムの位置を変更する場合

グラフアイテム上で右クリックして**移動**を選択（またはグラフアイテムの左上をクリック）し、画面上の任意の場所でクリックすると、グラフアイテムの位置を変更できます。



グラフアイテム上で右クリック



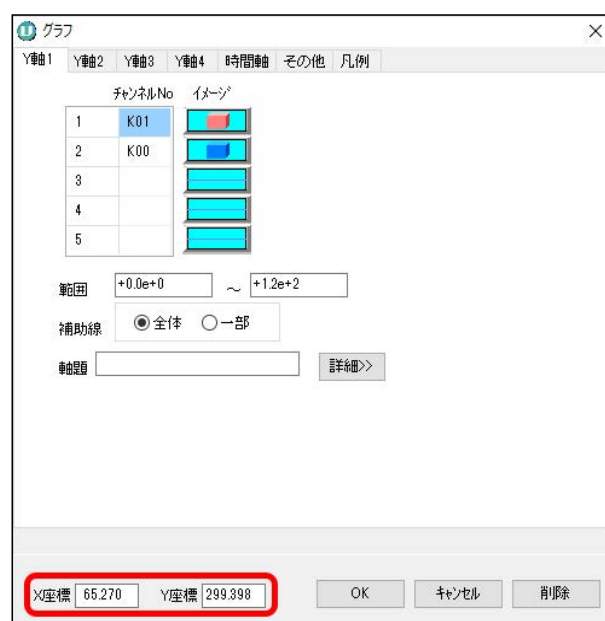
グラフアイテムを移動

◆グラフアイテムの位置を微調整する場合

グラフアイテム上で右クリックして**プロパティ**を選択（またはグラフアイテムの左上と右下以外をクリック）し、**グラフウィンドウ**のX座標とY座標を指定します。



グラフアイテム上で右クリック



座標指定でグラフアイテムの位置を微調整

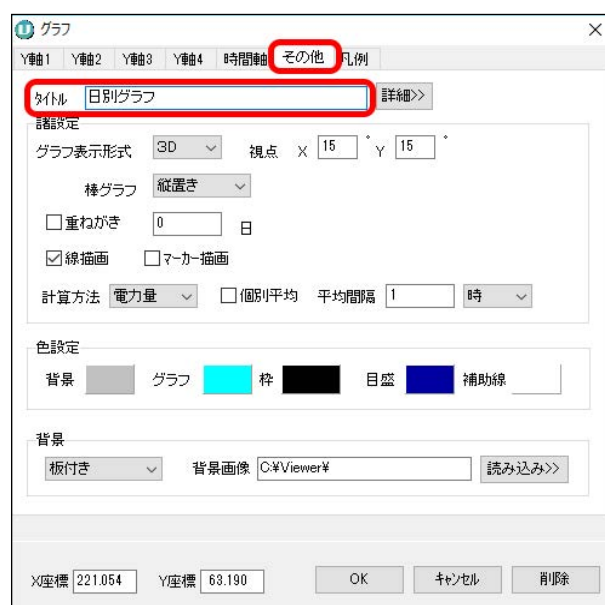
7. ◆グラフ名称を変更する場合

(例：“日別グラフ”へ変更)

グラフアイテム上で右クリックして**プロパティ**を選択（またはグラフアイテムの左上と右下以外をクリック）し、**グラフウィンドウ**を表示します。

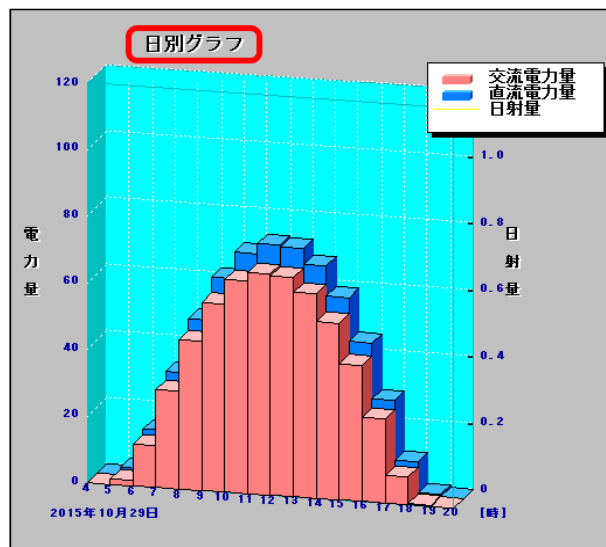
[その他] タブの**タイトル**欄に表示されている内容を“日別グラフ”へ変更し、**OK** ボタンをクリックします。

※ グラフ名称の位置やフォント種類等も変更する場合は、**詳細** ボタンをクリックして表示される**レイアウト**ウィンドウで行います。



グラフウィンドウ

グラフ名称が変更されていることを確認します。



グラフアイテム (拡大図)

8. ◆一つ目のY軸名称を変更する場合

(例: "一日の電力量"へ変更)

グラフアイテム上で右クリックして**プロパティ**を選択(またはグラフアイテムの左上と右下以外をクリック)し、**グラフウィンドウ**を表示します。

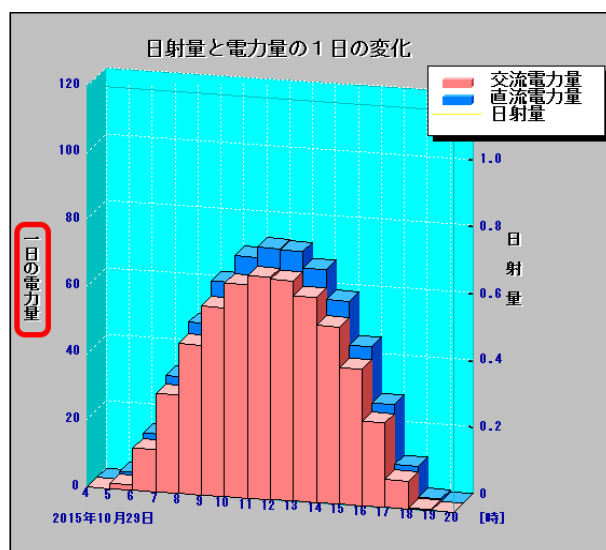
[Y軸1] タブの**軸題**欄に表示されている内容を「一日の電力量」へ変更し、**OK**ボタンをクリックします。

※ 二つ目のY軸名称の位置やフォント種類等も変更する場合は、**詳細**ボタンをクリックして表示される**レイアウト**ウィンドウで行います。



グラフウィンドウ

一つ目のY軸名称が変更されていることを確認します。



グラフアイテム (拡大図)

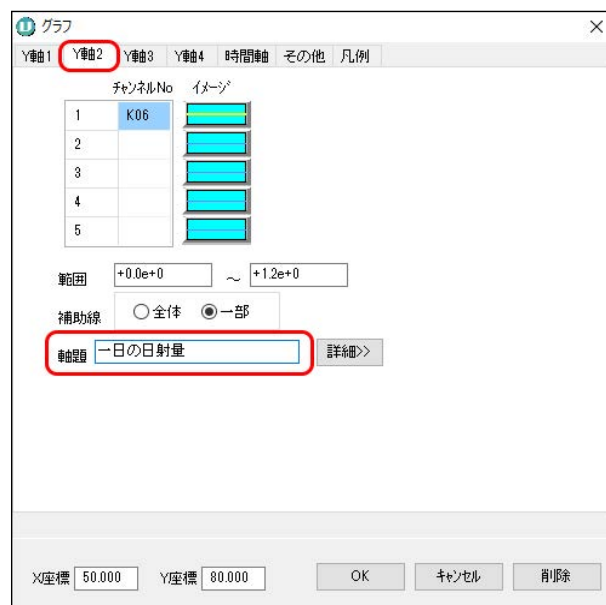
9. ◆二つ目のY軸名称を変更する場合

(例：“一日の日射量”へ変更)

グラフアイテム上で右クリックして**プロパティ**を選択（またはグラフアイテムの左上と右下以外をクリック）し、**グラフウィンドウ**を表示します。

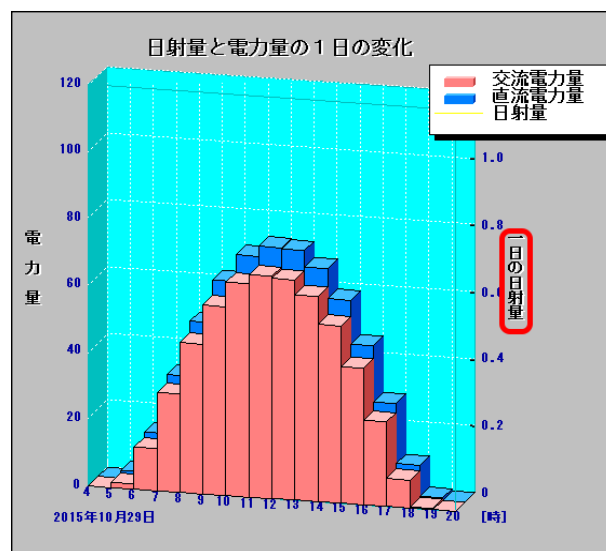
[Y軸2] タブの**軸題**欄に表示されている内容を「一日の日射量」へ変更し、**OK**ボタンをクリックします。

※ 二つ目のY軸名称の位置やフォント種類等も変更する場合は、**詳細**ボタンをクリックして表示される**レイアウト**ウィンドウで行います。



グラフウィンドウ

二つ目のY軸名称が変更されていることを確認します。

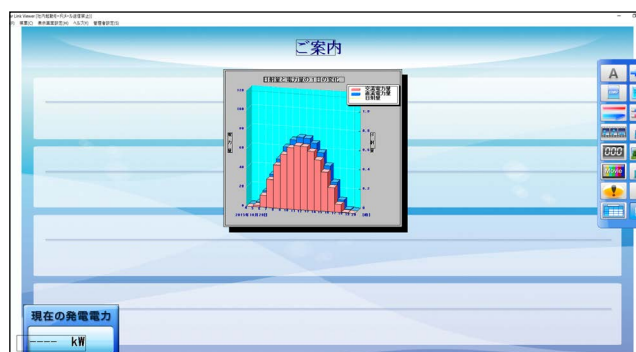


グラフアイテム (拡大図)

10. ツールパレットの**EXIT**ボタンをクリックします。



EXIT ボタン

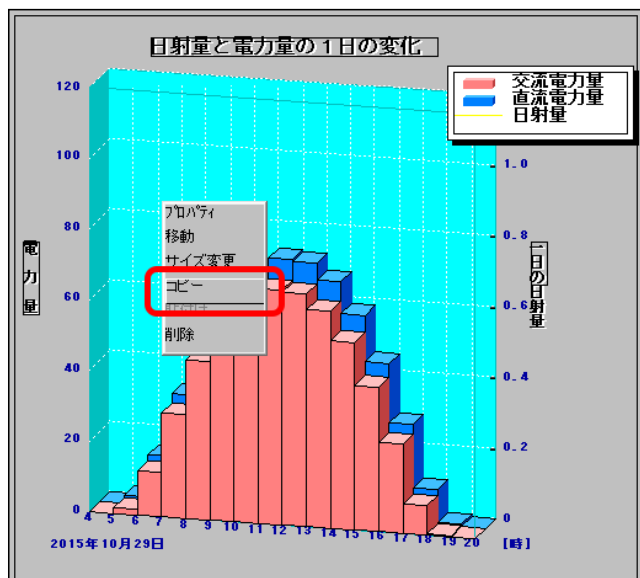


11. **表示画面設定メニュー**→**画面レイアウト保存**→**上書き保存**を選択し、配置したグラフアイテムを保存します。

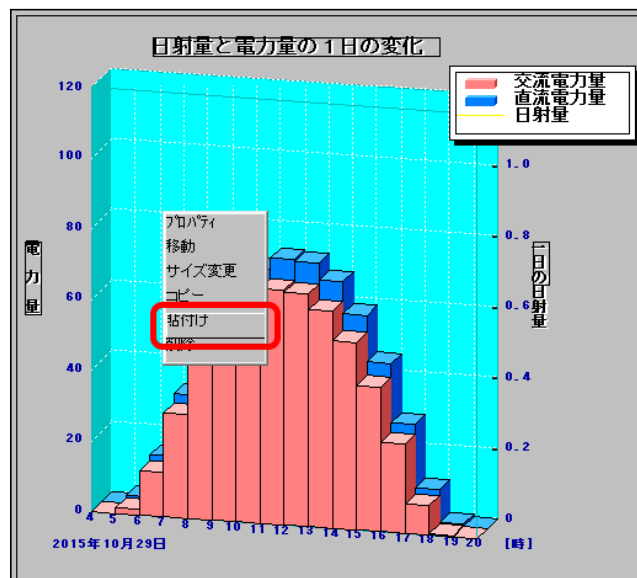
12. **ファイルメニュー**→**自動画面切替**のチェックを入れて（元々設定されていた場合のみ）、キーボードの**Esc**キーを押して全画面表示に戻します。

グラフアイテムをコピーして作成・編集

1. キーボードの **Esc** キーを押してメニューバーを表示させ、**ファイルメニュー**→ **自動画面切替** のチェックをはずします（設定が有効になっている場合のみ）。
2. グラフアイテムを配置したい画面へ移動後、**表示画面設定メニュー**→ **画面レイアウト** でツールパレットを表示します。
3. コピー元グラフアイテム上で右クリックして**コピー**を選択します。
再び同じグラフアイテム上で右クリックして**貼付け**を選択します。



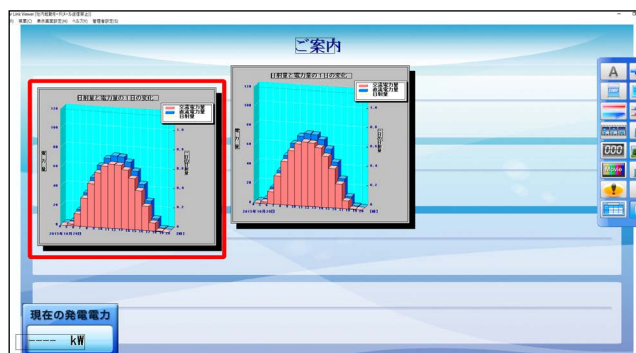
コピー元のグラフアイテム上で右クリック



再び同じグラフアイテム上で右クリック

4. 画面上の任意の場所でクリックし、コピーしたグラフアイテムの左上部分の大まかな配置を決定します。

- ◆グラフアイテムのサイズを変更する場合：P.44
- ◆グラフアイテムの位置を変更する場合：P.45
- ◆グラフアイテムの位置を微調整する場合：P.45
- ◆一つ目のY軸名称を変更する場合：P.46
- ◆二つ目のY軸名称を変更する場合：P.47



赤枠内=コピー先グラフアイテム

5. コピーしたグラフアイテム上で右クリックして**プロパティ**を選択（またはグラフアイテムの左上と右下以外をクリック）し、**グラフウィンドウ**を表示します。

6. グラフ種別を変更します

(例：日別グラフ→年別グラフへ変更)。

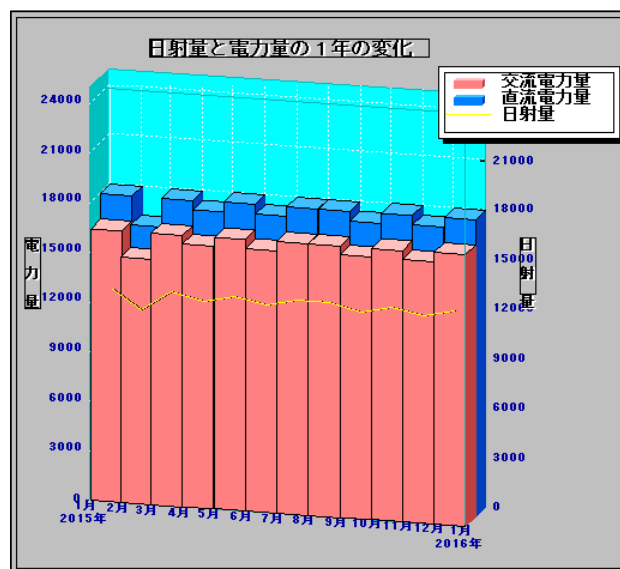
[時間軸] タブの「自動設定」にて、表示させたいグラフの種別(トレンド、日別、週別、月別、年別のいずれか)のボタンをクリックします。ここでは「年別」を選択します。

「相対指定」にチェックが有り、「種別」は「年」、プルダウンは「今年」が選択されていることを確認し、OK ボタンをクリックします。



グラフウィンドウ

グラフ種別が、年別グラフに変更されていることを確認します。



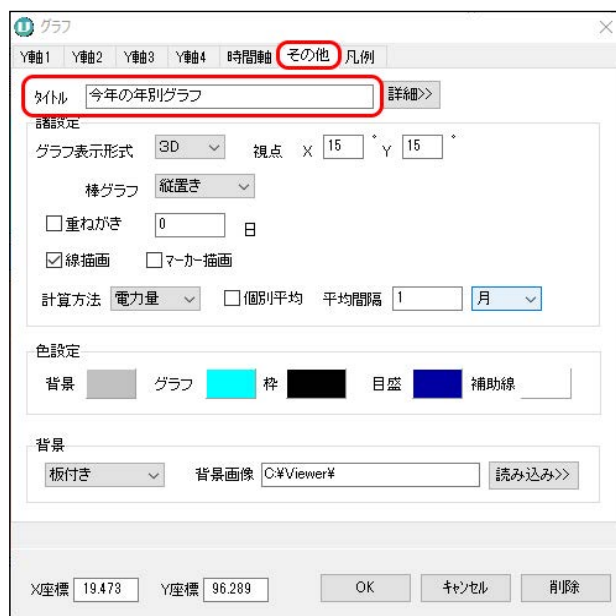
グラフアイテム (拡大図)

7. ◆グラフ名称を変更する場合

(例 : 「今年の年別グラフ」へ変更)

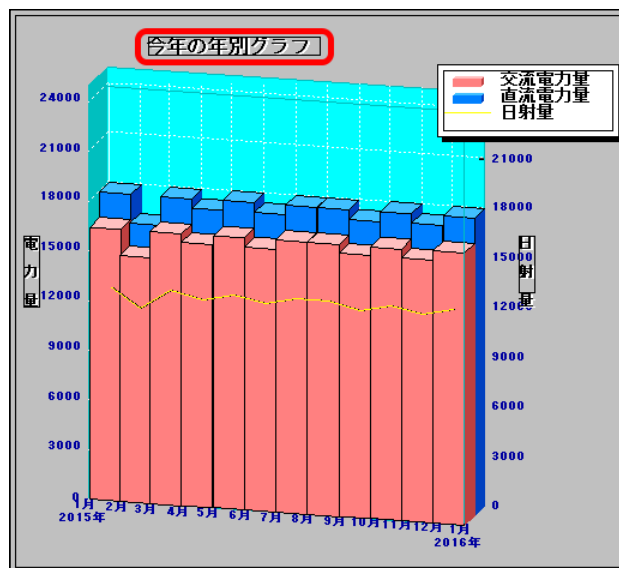
[その他] タブの**タイトル**欄に表示されている内容を「今年の年別グラフ」へ変更し、**OK** ボタンをクリックします。

※ グラフ名称の位置やフォント種類等も変更する場合は、**詳細** ボタンをクリックして表示される**レイアウト**ウィンドウで行います。



グラフウィンドウ

グラフ名称が変更されていることを確認します。

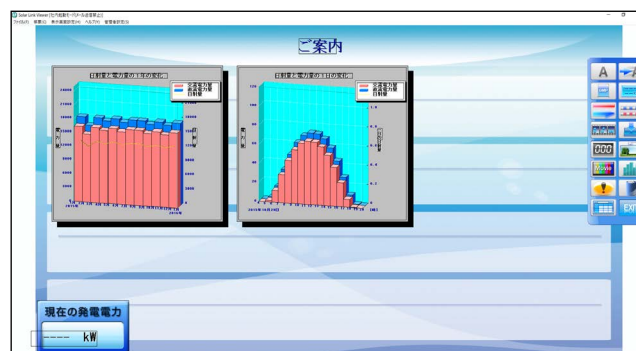


グラフアイテム (拡大図)

8. ツールパレットの **EXIT** ボタンをクリックします。



EXIT ボタン



9. 表示画面設定メニュー→画面レイアウト保存→上書き保存を選択し、配置したグラフアイテムを保存します。

10. ファイルメニュー → 自動画面切替 のチェックを入れて (元々設定されていた場合のみ)、キーボードの **Esc** キーを押して全画面表示に戻します。

帳票アイテムの追加

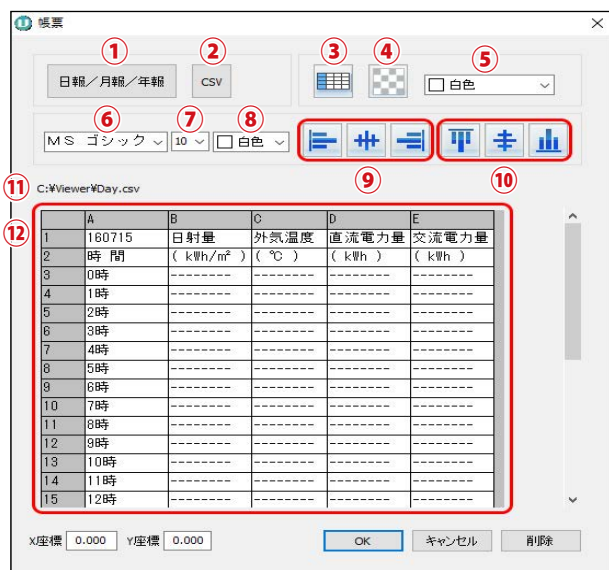
任意の画面に、帳票メニューで表示または CSV 保存される計測データ、ならびに任意の CSV ファイルを、**最大 3 つ**までアイテムとして追加することができます。

1. 帳票ウィンドウ



⑮ 「新規帳票」ボタン

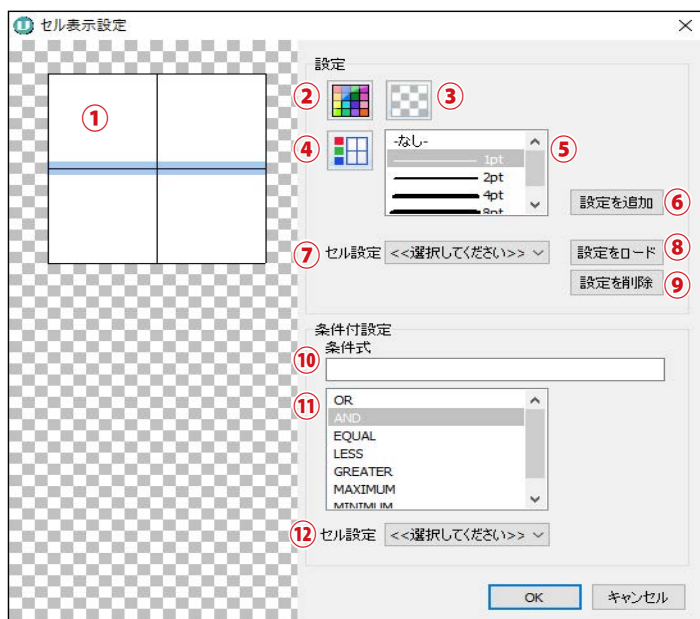
帳票アイテムを追加する時に選択します。



- | | |
|----------------|---|
| ① 日報 / 月報 / 年報 | 日報・月報・年報のいずれかを表示します。表示項目は任意に設定できます。 |
| ② CSV | 任意の CSV ファイルを表示します。 |
| ③ セル表示設定 | ⑫で選択したセルの設定を行います。セル表示設定ウィンドウが開きます (P.8)。 |
| ④ 背景色 (透明) | ⑫で選択した範囲の背景色を透明にします。 |
| ⑤ 背景色 | ⑫で選択した範囲の背景色を設定します。 |
| ⑥ フォント種類 | ⑫で選択した範囲のフォント種類を設定します。 |
| ⑦ フォントサイズ | ⑫で選択した範囲のフォントサイズを設定します。 |
| ⑧ フォント色 | ⑫で選択した範囲のフォント色を設定します。 |
| ⑨ フォント横位置 | ⑫で選択した範囲の横位置 (左詰め・中央・右詰めのいずれか) を設定します。 |
| ⑩ フォント縦位置 | ⑫で選択した範囲の縦位置 (上詰め・中央・下詰めのいずれか) を設定します。 |
| ⑪ CSV 格納場所 | ②で選択した CSV ファイルの格納場所を表示します。 |
| ⑫ プレビュー | 帳票アイテムをプレビューします。
プレビュー上でセルを選択し、③～⑩の設定を行います。
行の高さ、列の幅を、手動で変更します。
行または列を右クリックして表示される「非表示」のチェックの OFF/ON により、その行または列の表示 / 非表示を選択します。 |

セル表示設定ウィンドウ

帳票ウィンドウのセル表示設定ボタンをクリックすると表示されます。



- ① プレビュー 色や線の設定をプレビューします。
各線をクリックすると青色で選択され、④～⑤の設定ができます。

【設定】

- ② 背景色 セルの背景色を指定します。
- ③ 背景色（透明） セルの背景色を透明にします。
- ④ 枠色 ①で選択した枠の色を指定します。
- ⑤ 枠幅 ①で選択した枠の幅をダブルクリックで指定します。
- ⑥ 設定を追加 ①～⑤で設定したセル設定を登録します。
- ⑦ セル設定 ⑥で登録したセル設定または「標準設定」から、呼び出すセル設定を選択できます。
- ⑧ 設定をロード ⑦で選択したセル設定を呼び出します。
- ⑨ 設定を削除 ⑦で選択したセル設定を削除します。

【条件付設定】

- ⑩ 条件式 条件付セル設定に使用する条件式を、直接記述します（P.56を参照）。
- ⑪ 条件式選択 条件付セル設定に使用する条件式を、プルダウンから選択します。
- ⑫ セル設定 条件式が TRUE の時に適用されるセル設定を選択します。

2. 帳票アイテムの作成・編集・配置

1. キーボードの **Esc** キーを押してメニューバーを表示させ、**ファイルメニュー** → **自動画面切替** のチェックをはずします (設定が有効になっている場合のみ)。

2. 帳票アイテムを表示したい画面へ移動後、**表示画面設定メニュー** → **画面レイアウト** でツールパレットを表示し、**新規帳票** ボタンをクリックします。



新規帳票ボタン

3. マウスのカーソルを画面上の任意の場所でクリックし、**帳票ウィンドウ**を表示します。

◆日報 / 月報 / 年報のいずれかを表示する場合

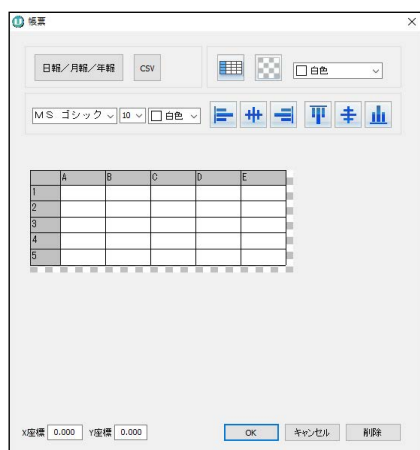
日報 / 月報 / 年報 ボタンをクリックし、**帳票 - 項目設定** ウィンドウを開きます。

表示させたい帳票の種類を、「**日報**」「**月報**」「**年報**」からいずれか一つを選択します。

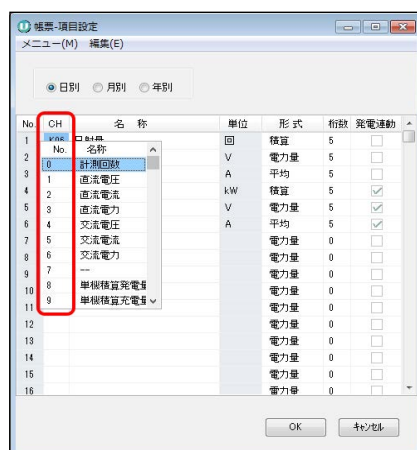
CH の列をダブルクリックして表示される項目のうち、帳票に表示したい項目を指定して再びダブルクリックすると、各行に情報が反映されます (各行で右クリックすると、行挿入または行削除ができます)。

複数項目を指定したい場合はこの操作を繰り返します。

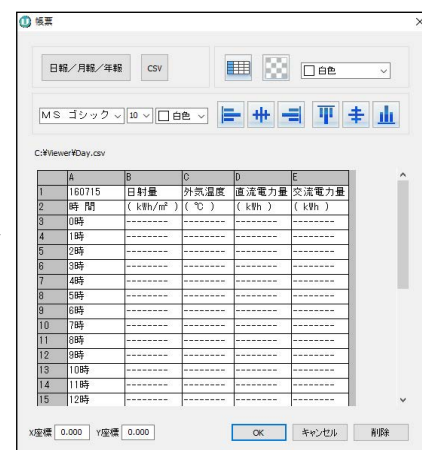
表示したい項目を全て指定した後に **OK** ボタンをクリックすると選択した項目がプレビューに表示されます。



帳票ウィンドウ (項目指定前)



帳票 - 項目設定ウィンドウ



帳票ウィンドウ (項目指定後)

◆任意の CSV ファイルを表示する場合

CSV ボタンをクリックし、任意の CSV ファイルを指定すると、ファイルの内容がプレビューに表示されます。

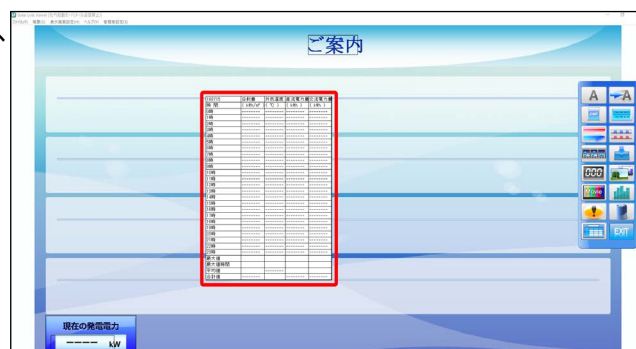
※取り込める CSV ファイルには、以下の制限があります。

[列数] 最大 50 列 [行数] 最大 50 行 [文字数] 1 セルにつき最大 100 字 (半角)

4. セルの書式を設定します。

設定したいセルをプレビューで選択し、セル表示設定ウィンドウで設定を行います (P.52 を参照)。

5. **OK** ボタンをクリック後、画面上の任意の場所でクリックし、帳票アイテムの左上位置の大きな配置を決定します。



6. ◆帳票アイテムのサイズを変更する場合

帳票アイテム上で右クリックして**プロパティ**を選択（または帳票アイテムの左上と右下以外をクリック）し、帳票ウィンドウのプレビューでセルのサイズ（行の高さ、列の幅）を変更できます。

160715	日射量	外気温度	直流電力量	交流電力量
時間	(kWh/m ²)	(°C)	(kWh)	(kWh)
0時	プロパティ			
1時	移動			
2時	サイズ変更			
3時	コピー			
4時	貼付け			
5時	削除			
6時				
7時				
8時				
9時				
10時				

帳票アイテム上で右クリック

※帳票アイテム上で右クリックしても、**サイズ変更**は選択できません。

※動画アイテムの右下をクリックしても、サイズは変更できません。

7. ◆帳票アイテムの位置を変更する場合

帳票アイテム上で右クリックして**移動**を選択（または帳票アイテムの左上をクリック）し、画面上の任意の場所でクリックすると、帳票アイテムの位置を変更できます。

160715	日射量	外気温度	直流電力量	交流電力量
時間	(kWh/m ²)	(°C)	(kWh)	(kWh)
0時	プロパティ			
1時	移動			
2時				
3時	コピー			
4時	貼付け			
5時	削除			
6時				
7時				
8時				
9時				

帳票アイテム上で右クリック



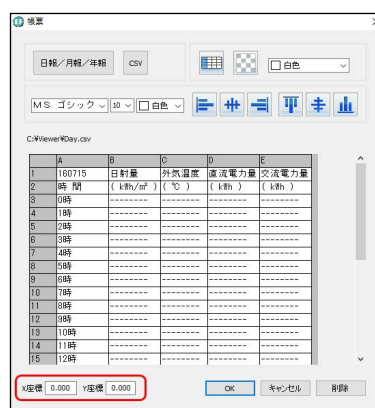
帳票アイテムを移動

◆帳票アイテムの位置を微調整する場合

帳票アイテム上で右クリックして**プロパティ**を選択（または帳票アイテムの左上と右下以外をクリック）し、帳票ウィンドウのX座標とY座標を指定すると、帳票アイテムの位置を微調整できます。

160715	日射量	外気温度	直流電力量	交流電力量
時間	(kWh/m ²)	(°C)	(kWh)	(kWh)
0時	プロパティ			
1時	移動			
2時	サイズ変更			
3時	コピー			
4時	貼付け			
5時	削除			
6時				
7時				
8時				
9時				
10時				
11時				

帳票アイテム上で右クリック



座標指定で帳票アイテムの位置を微調整

8. 表示画面設定メニュー→画面レイアウト保存→上書き保存を選択し、配置した帳票アイテムを保存します。

9. ファイルメニュー→自動画面切替のチェックを入れて（元々設定されていた場合のみ）、キーボードの **Esc** キーを押して全画面表示に戻します。

セルの値に応じてセル設定を自動変更する場合

セルの値に応じて、セル設定を自動変更することができます。
 (例：最も日射量が大きかった時間帯のセルの色を、白→黄へ自動で変化させる)

1. 帳票アイテム上で右クリックして**プロパティ**を選択（または帳票アイテムの左上と右下以外をクリック）し、**セル表示設定**ボタンをクリックして表示される**セル表示設定**ウィンドウで設定を行います。

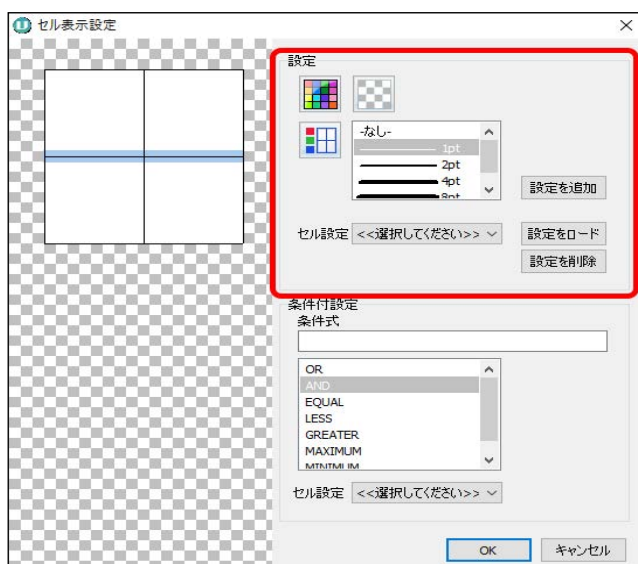
160715	日射量	外気温度	直流電力量	交流電力量
時間	(kWh/m ²)	(°C)	(kWh)	(kWh)
0時				
1時				
2時				
3時				
4時				
5時				
6時				
7時				
8時				
9時				
10時				

帳票アイテム上で右クリック



セル表示設定ボタンをクリック

2. 【設定】でセル設定を行います。



セルの色、枠の色・太さを設定し、**設定を追加**ボタンをクリックしてセル設定を登録します。

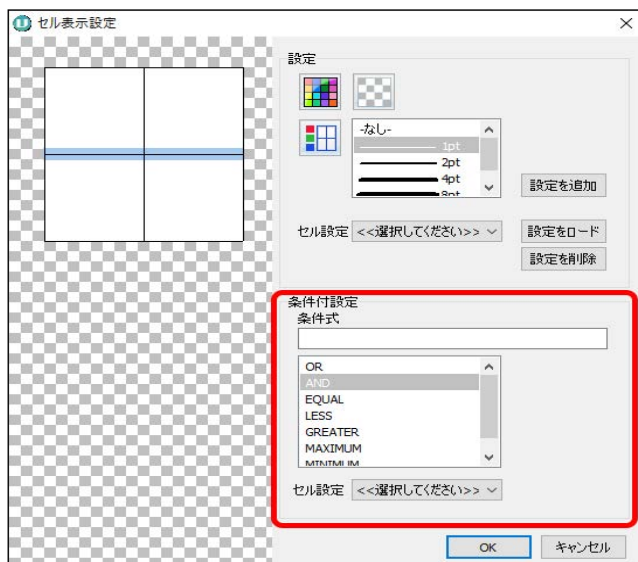
◆登録したセル設定を呼び出す場合

セル設定プルダウンよりセル設定を選択し、**設定をロード**ボタンをクリックします。

◆登録したセル設定を削除する場合

セル設定プルダウンよりセル設定を選択し、**設定を削除**ボタンをクリックします。

3. 【条件付設定】で条件式設定を行います。



「条件式」を設定（式を直接入力、またはリストから式を選択してダブルクリック）します。

※式については P.56 を参照。

「条件式」が TRUE の場合に適用させるセル設定を、**セル設定**プルダウンから選択し、**OK** ボタンをクリックします。

【式の種類】

式の記号	式の意味
()	四則演算用括弧。使用法は一般的な四則演算のルールに従う。
+	加算記号
-	減算記号
*	乗算記号
/	除算記号
[]	以下の独自記号用括弧。使用法は一般的な四則演算のルールに従う。
OR	論理和記号。二項演算子として使用。
AND	論理積記号。二項演算子として使用。
EQUAL[]	ある値と等しい。[]付単項演算子として使用。
LESS[]	ある値より小さい。[]付単項演算子として使用。
GREATER[]	ある値より大きい。[]付単項演算子として使用。
MAXIMUM[]	ある範囲に対して最大値であれば TRUE。[]付単項演算子として使用。
MINIMUM[]	ある範囲に対して最小値であれば TRUE。[]付単項演算子として使用。

※ 数値ではないセルは常に「データなし」として扱われます。

※ 列を A からの連番、行を 1 からの連番であらわし、特定のセルを記述します。

※ 範囲をあらわすときは、2 つのセルの間を「:」で区切ります。

※ スペースは無視されます。

【式の例①】

	A	B	C
1	1	2	12
2	5	3	5
3	6	8	8
4	4	5	7
5	6	1	2

MAXIMUM[A1:B5]

この条件を設定したセルが、
セル A1 からセル B5 の範囲において最大値であれば TRUE。

【式の例②】

	A	B	C	D	E
1	1	2	12	4	2
2	5	3	25	3	a
3	6	8	5	2	4

[EQUAL[A1+10]] OR [GREATER[A1+10]]

この条件を設定したセルが、
セル A1 より 10 以上大きければ TRUE。

改訂履歴

Solar Link Viewer バージョン	改訂内容	改訂日
ver. 1.3	<ul style="list-style-type: none"> ・パワコン状態履歴追加 ・チャンネル自動設定追加 ・16:9表示(メニューバー表示時)追加 ・写真画面設定追加 ・自動画面切替設定ウィンドウからのプレビュー設定 ・ボタンテイスト4パターン追加 ・掲示板の追加、機能ボタンを削除 ・LED文字による日時表示追加 ・飾り文字による日時表示追加 ・指定時刻に背景画像切り替え追加 ・指定タイミングで画像切り替え追加 ・アイテム最大登録数増加 ・帳票最大項目数増加 ・流れ文字継続表示機能追加 ・数値画面の単位表示/非表示選択機能追加 ・メニュー体系変更 ・その他設定ウィンドウの設定内容変更 ・NEDO関係の機能削除 	2011.10.13
ver. 1.4	・プロテクトコネクタに関する記述を削除	2012.06.01
	・画面追加による、画面切替間隔秒数の変更	2013.02.26
ver. 1.4 ver. 1.5	・全面リニューアル	2015.02.03
	・ロゴの差し替え	2015.02.25
	・レイアウト調整	2015.03.05
	・増刷	2015.09.16
ver. 1.6 ver. 1.7	<ul style="list-style-type: none"> ・構成を見直し全面改訂 ・新規動画、新規グラフボタンの説明を追加 ・掲示板画面の追加手順を追加 	2016.05.19
ver. 1.8	・動画アイテム、グラフアイテム、帳票アイテムの説明を追加	2016.10.04
	・グラフアイテムの追加機能の仕様変更に対応	2016.11.01

著作権について

本ソフトウェア、本操作ガイドおよび取扱説明書、施工説明書の著作権は株式会社ラプラス・システムに帰属します。株式会社ラプラス・システムの許可なく、内容の全部または一部を複製、改変、公衆送信することは、著作権法上、禁止されております。

お問い合わせ先

株式会社 ラプラス・システム

お電話でのお問い合わせ

TEL: 075-634-8073

お問い合わせはコールセンターまで

弊社 HP からのお問い合わせ

<http://www.lapsys.co.jp/>

「お問い合わせ」フォームをご利用ください

- ・ Microsoft, Windows, Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本説明書で登場するシステム名、製品名、ブラウザ名、サービス名は、各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- ・ 本説明書中では TM、R マークは明記していません。
- ・ 本説明書の内容を無断で転載することを禁じます。
- ・ 本説明書の内容は改良のため予告なく変更される場合があります。



株式会社 ラプラス・システム

〒 612-8083

京都市伏見区京町 1-245

TEL:075-634-8073 / FAX:075-644-4832
